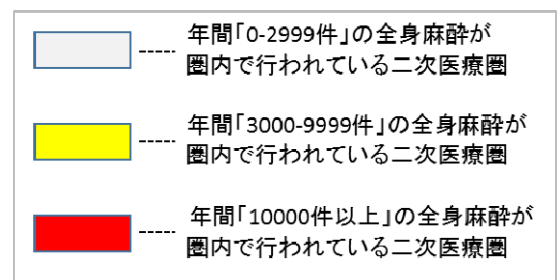
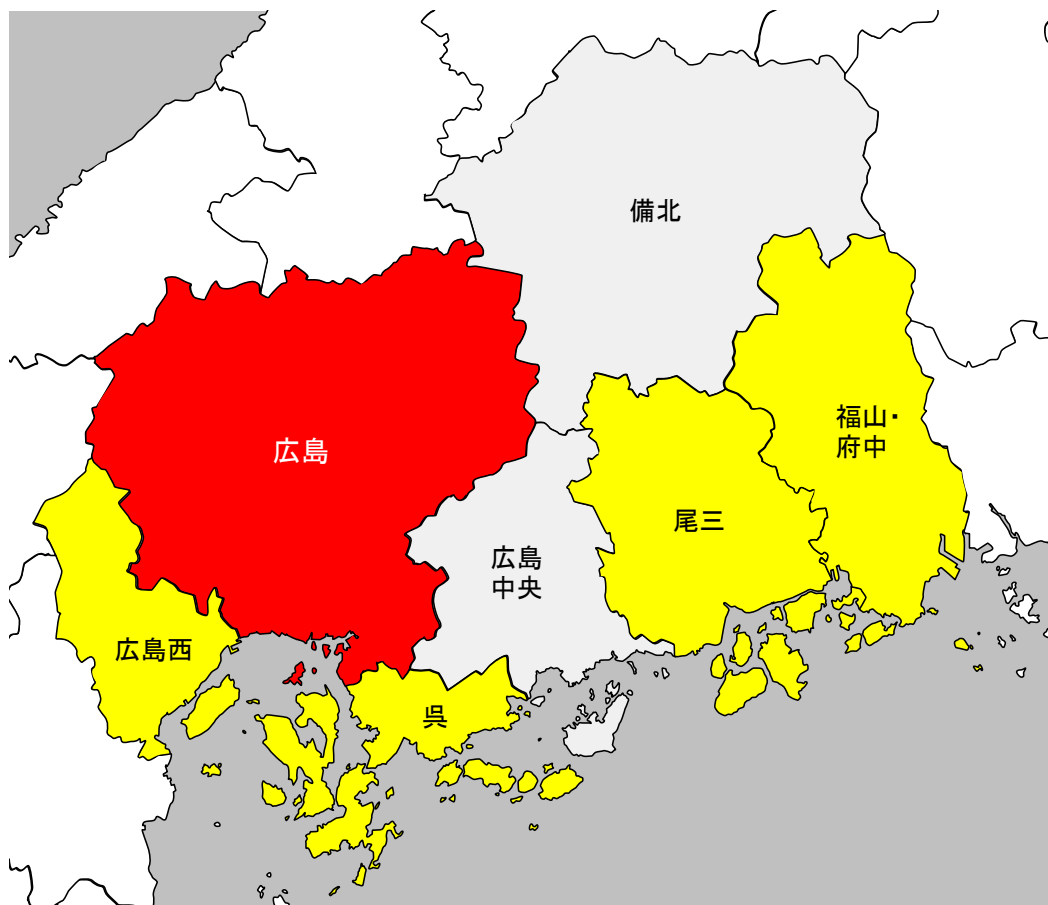


34. 広島県



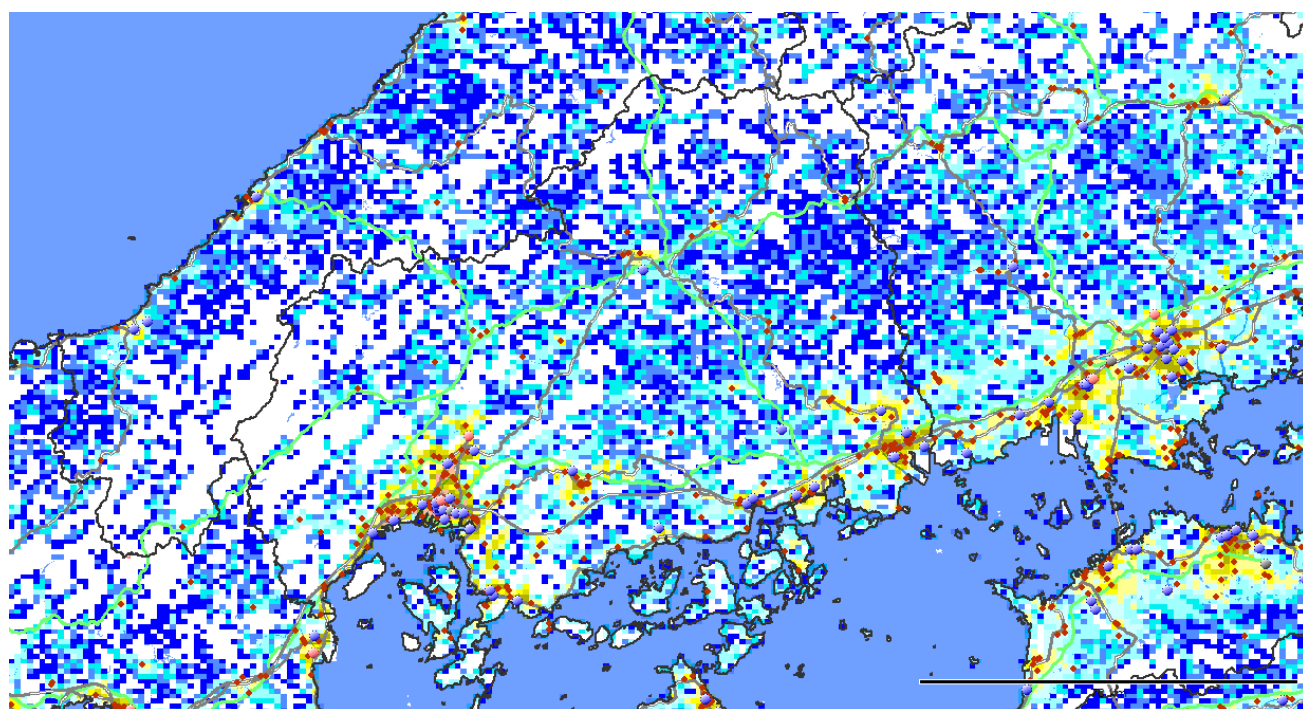
34. 広島県

目次

広島県.....	34 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	34 - 7
1. 広島医療圏.....	34 - 21
2. 広島西医療圏.....	34 - 25
3. 呉医療圏.....	34 - 29
4. 広島中央医療圏.....	34 - 33
5. 尾三医療圏.....	34 - 37
6. 福山・府中医療圏.....	34 - 41
7. 備北医療圏.....	34 - 45

34. 広島県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 広島県を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(広島県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島県は、総人口約 2825 千人(2015 年推計)、面積 8480 km²、人口密度は 333 人/km²である。

*人口の将来予測： 広島県の総人口は 2025 年に 2689 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 2391 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 386 千人が、2025 年にかけて 516 千人へと増加し(2015 年比+34%)、2040 年には 508 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島県の一人当たり医療費(国保)は 368 千円(偏差値 64)、介護給付費は 273 千円(偏差値 56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.08、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.4 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 51(病院医師数 49、診療所医師数 55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 56 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 53 とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 55 と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、40869 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 24280 床(偏差値 53)、高齢者住宅等が 16589 床(偏差値 54)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、36510 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 63)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 48、軽費ホーム 50、グループホーム 55、サ高住 58 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 64 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 52 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、5291 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は32561床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は28700床であり、その差は-3861床(-12%)である。

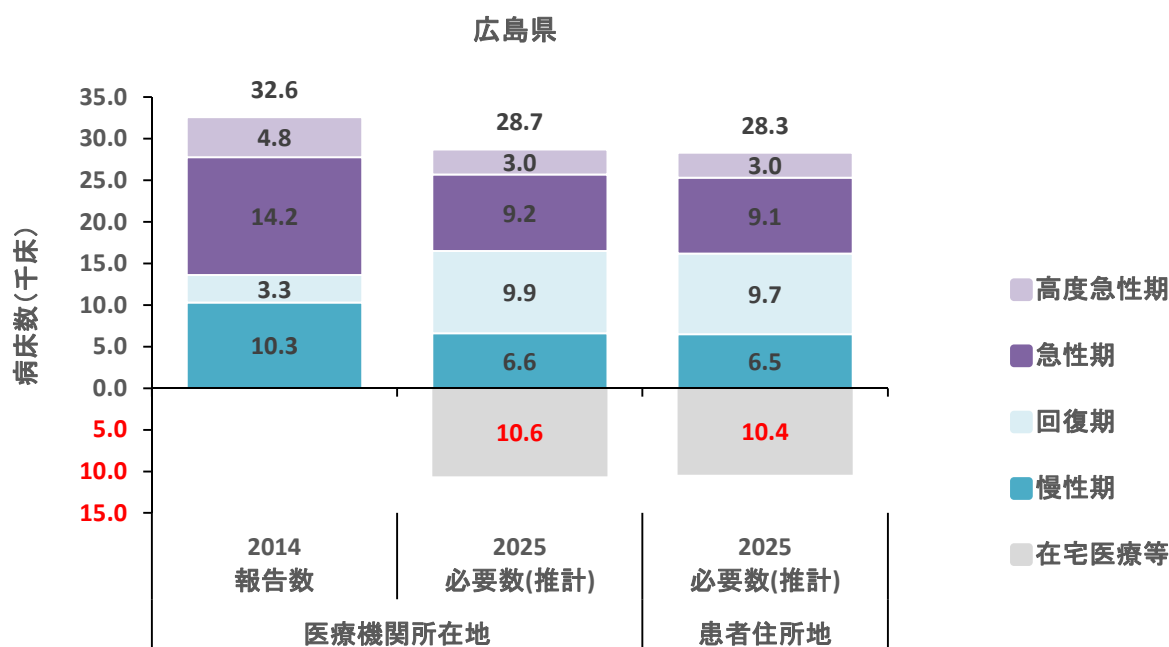
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は4787床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3000床であり、その差は-1787床(-37%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は14178床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は9200床であり、その差は-4978床(-35%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は3284床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は9900床であり、その差は+6616床(+201%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は10312床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は6600床であり、その差は-3712床(-36%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は10600人である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

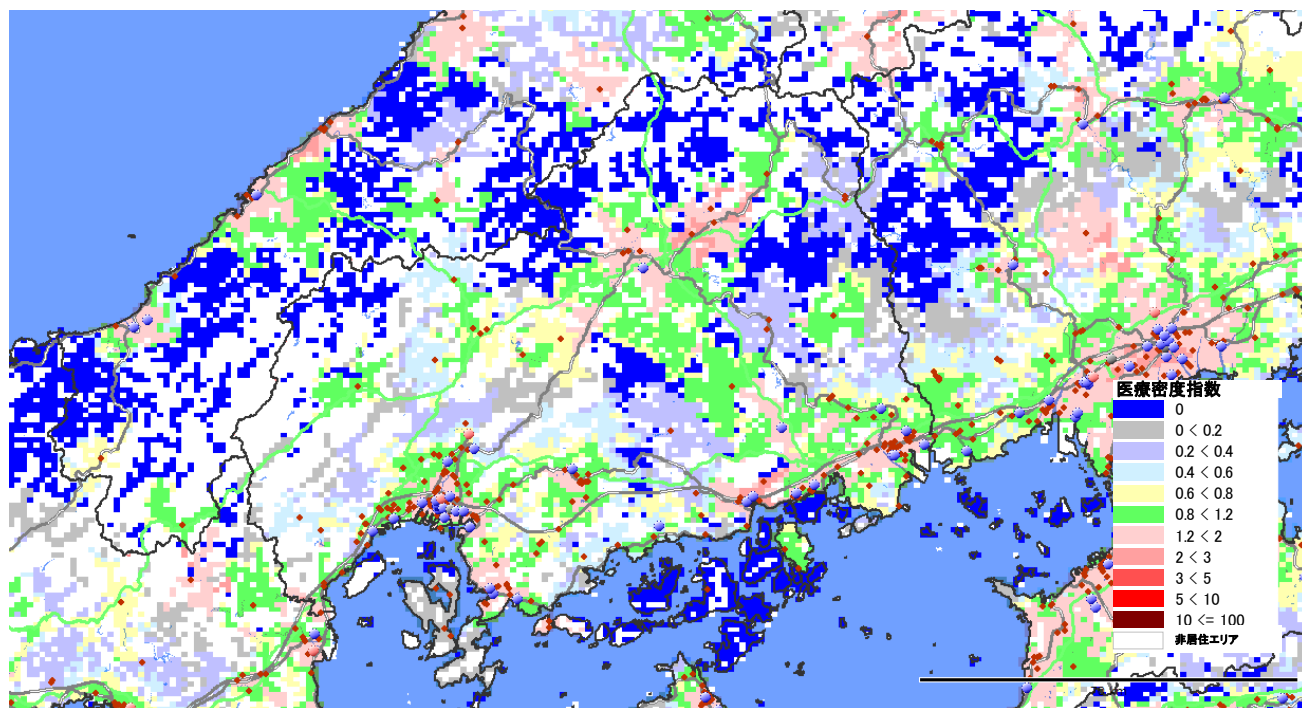
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

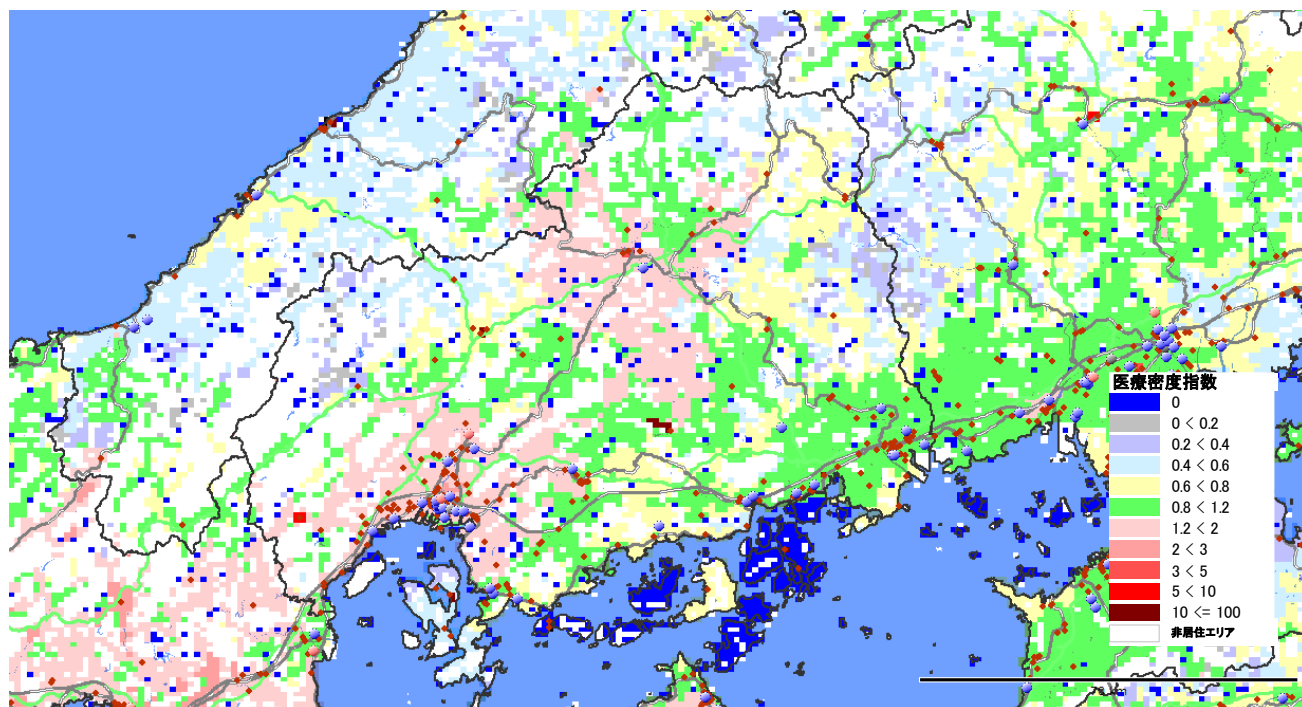
34. 広島県

2. 医療密度⁵

図表 34-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 34-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
広島県	2,825	12位	8,480	11位	333.2		28%	2,689	2,391	386	516	508	-5%	-11%	34%	-2%
広島	1,357	48%	2,505	30%	541.9	大都市型	25%	1,329	1,226	161	235	247	-2%	-8%	46%	5%
広島西	139	5%	568	7%	244.9	地方都市型	30%	129	108	20	27	28	-7%	-16%	35%	4%
呉	252	9%	455	5%	553.8	地方都市型	34%	222	176	43	51	39	-12%	-21%	19%	-24%
広島中央	227	8%	797	9%	285.2	地方都市型	25%	223	208	27	37	38	-2%	-7%	37%	3%
尾三	252	9%	1,034	12%	243.3	地方都市型	34%	226	186	45	52	46	-10%	-18%	16%	-12%
福山・府中	507	18%	1,096	13%	462.5	地方都市型	29%	480	422	71	94	93	-5%	-12%	32%	-1%
備北	91	3%	2,025	24%	45.1	過疎地域型	37%	80	65	20	21	18	-12%	-19%	5%	-14%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 34-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
広島県	1.08	1.40	10.0%	-20.3%	-18.4%
広島	1.14	1.95	9.6%	-31.7%	-38.6%
広島西	0.76	1.44	-7.3%	-47.3%	-51.6%
呉	1.14	1.24	-0.5%	-18.5%	8.4%
広島中央	0.83	1.32	11.7%	-20.2%	-23.2%
尾三	1.09	1.01	2.0%	-14.1%	0.0%
福山・府中	1.06	3.04	2.6%	-30.1%	-27.8%
備北	1.13	1.59	12.0%	10.7%	21.1%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

34. 広島県

資_図表 34-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
広島県	368	64	273	56
広島	394	70	274	56
広島西	358	62	240	47
呉	415	75	250	50
広島中央	393	70	257	52
尾三	373	65	290	61
福山・府中	342	58	276	57
備北	395	71	343	75
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 34-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
広島県	248	2.9%	8.8	55	2,598	2.6%	92	56
広島	100	40%	7.4	51	1,341	52%	99	60
広島西	13	5%	9.3	56	121	5%	87	54
呉	30	12%	11.9	62	274	11%	109	65
広島中央	20	8%	8.8	55	171	7%	75	48
尾三	25	10%	9.9	58	218	8%	87	54
福山・府中	49	20%	9.7	57	375	14%	74	47
備北	11	4%	12.1	63	98	4%	107	64
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 34-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床				有床			
					診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
広島県	2,598	2.6%	92	56	2,342	2.6%	83	56	256	2.8%	9.1	53
広島	1,341	52%	99	60	1,223	52%	90	60	118	46%	8.7	52
広島西	121	5%	87	54	112	5%	81	54	9	4%	6.5	49
呉	274	11%	109	65	249	11%	99	64	25	10%	9.9	54
広島中央	171	7%	75	48	151	6%	66	47	20	8%	8.8	52
尾三	218	8%	87	54	198	8%	79	53	20	8%	7.9	51
福山・府中	375	14%	74	47	325	14%	64	46	50	20%	9.9	54
備北	98	4%	107	64	84	4%	92	61	14	5%	15.3	62
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 34-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所				病院+			
					診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
広島県	40,853	2.6%	1,446	54	3,651	3.0%	129	53	44,504	2.6%	1,575	54
広島	17,352	42%	1,278	51	1,714	47%	126	53	19,066	43%	1,404	51
広島西	2,573	6%	1,850	62	116	3%	83	49	2,689	6%	1,933	60
呉	4,643	11%	1,844	62	358	10%	142	54	5,001	11%	1,986	61
広島中央	3,369	8%	1,482	55	234	6%	103	51	3,603	8%	1,585	54
尾三	4,537	11%	1,803	61	301	8%	120	52	4,838	11%	1,923	60
福山・府中	6,556	16%	1,294	51	729	20%	144	54	7,285	16%	1,438	52
備北	1,823	4%	1,997	65	199	5%	218	61	2,022	5%	2,215	65
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 34-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養				精神			
					療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
広島県	21,401	2.4%	757	52	10,196	3.1%	361	55	9,039	2.7%	320	52
広島	9,009	42%	664	48	4,623	45%	341	54	3,609	40%	266	50
広島西	1,088	5%	782	53	1,009	10%	725	72	476	5%	342	53
呉	2,391	11%	949	60	859	8%	341	54	1,347	15%	535	62
広島中央	1,653	8%	727	51	724	7%	319	53	938	10%	413	57
尾三	2,603	12%	1,034	64	1,004	10%	399	57	930	10%	370	55
福山・府中	3,827	18%	755	52	1,219	12%	241	49	1,504	17%	297	51
備北	830	4%	909	59	758	7%	831	77	235	3%	257	50
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

34. 広島県

資_図表 34-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数³

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
広島県	1,842	2.5%	65	51	1,085	5.1%	38	51
広島	834	45%	61	51	384	35%	28	48
広島西	180	10%	129	65	10	1%	7	44
呉	183	10%	73	53	77	7%	31	49
広島中央	49	3%	22	42	107	10%	47	53
尾三	156	8%	62	51	216	20%	86	61
福山・府中	398	22%	79	54	157	14%	31	49
備北	42	2%	46	47	134	12%	147	75
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

資_図表 34-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
広島県	66,000	2.6%	2,336	53	26,844	2.5%	950	54
広島	36,540	55%	2,692	57	12,768	48%	941	54
広島西	3,264	5%	2,347	53	1,536	6%	1,104	59
呉	7,020	11%	2,787	58	2,400	9%	953	54
広島中央	1,260	2%	554	34	1,404	5%	618	42
尾三	6,996	11%	2,780	58	2,460	9%	978	55
福山・府中	9,204	14%	1,816	48	5,424	20%	1,070	58
備北	1,716	3%	1,880	48	852	3%	934	53
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

³ 福岡県・近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

資_図表 34-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
広島県	7,555	2.3%	267	51	4,451	2.2%	158	49	3,104	2.5%	110	55
広島	3,863	51%	285	53	2,221	50%	164	50	1,642	53%	121	58
広島西	368	5%	265	51	235	5%	169	51	133	4%	96	50
呉	824	11%	327	58	506	11%	201	56	318	10%	126	60
広島中央	479	6%	211	45	273	6%	120	43	206	7%	91	48
尾三	627	8%	249	49	389	9%	155	49	238	8%	94	49
福山・府中	1,154	15%	228	46	676	15%	133	45	479	15%	95	49
備北	240	3%	262	50	152	3%	166	50	88	3%	96	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 34-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
広島県	29,025	2.7%	1,027	56	23,174	2.6%	820	55	5,851	3.2%	207	59
広島	13,001	45%	958	54	10,294	44%	758	52	2,707	46%	199	58
広島西	1,597	6%	1,148	61	1,366	6%	982	62	230	4%	166	53
呉	2,995	10%	1,189	62	2,473	11%	982	62	522	9%	207	59
広島中央	2,033	7%	894	52	1,697	7%	746	52	336	6%	148	51
尾三	3,273	11%	1,301	66	2,645	11%	1,051	64	628	11%	250	64
福山・府中	5,044	17%	995	55	3,803	16%	750	52	1,242	21%	245	64
備北	1,082	4%	1,185	62	896	4%	981	62	186	3%	204	58
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 34-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
広島県	2,801	2.5%	99	52	6,556	2.3%	232	51
広島	1,197	43%	88	50	3,373	51%	248	53
広島西	209	7%	150	63	310	5%	223	50
呉	264	9%	105	53	557	8%	221	50
広島中央	224	8%	98	52	369	6%	162	44
尾三	352	13%	140	60	588	9%	234	51
福山・府中	469	17%	93	51	1,196	18%	236	52
備北	87	3%	96	51	163	2%	179	45
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

34. 広島県

資_図表 34-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
広島県	575	4.0%	1.5	64	29	2.8%	0.1	52
広島	274	48%	1.7	68	12	41%	0.1	52
広島西	24	4%	1.2	57	1	3%	0.1	48
呉	52	9%	1.2	57	2	7%	0.0	47
広島中央	50	9%	1.9	72	2	7%	0.1	52
尾三	65	11%	1.5	63	2	7%	0.0	47
福山・府中	91	16%	1.3	59	10	34%	0.1	63
備北	19	3%	0.9	51	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 34-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
広島県	40,869	2.6%	106	56	24,280	2.5%	63	53	16,589	2.7%	43	54
広島	17,974	44%	112	60	9,493	39%	59	50	8,481	51%	53	61
広島西	1,847	5%	92	48	1,185	5%	59	50	662	4%	33	47
呉	3,987	10%	93	48	3,061	13%	71	60	926	6%	22	39
広島中央	3,000	7%	112	60	1,936	8%	72	60	1,064	6%	40	52
尾三	4,405	11%	98	52	2,991	12%	67	56	1,414	9%	32	46
福山・府中	7,604	19%	108	57	4,103	17%	58	50	3,501	21%	50	59
備北	2,052	5%	101	53	1,511	6%	74	62	541	3%	27	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 34-15 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
広島県	8,881	2.5%	23	52	12,249	2.3%	32	49	3,150	4.5%	8.2	59
広島	3,132	35%	19	46	4,831	39%	30	47	1,530	49%	9.5	63
広島西	476	5%	24	54	491	4%	25	42	218	7%	10.9	66
呉	1,322	15%	31	66	1,417	12%	33	50	322	10%	7.5	58
広島中央	731	8%	27	60	981	8%	37	54	224	7%	8.3	60
尾三	1,242	14%	28	61	1,339	11%	30	47	410	13%	9.2	62
福山・府中	1,483	17%	21	49	2,263	18%	32	49	357	11%	5.1	52
備北	495	6%	24	54	927	8%	45	62	89	3%	4.4	50
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア				シェア 県内 シェア				シェア 県内 シェア		
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
広島県	4,227	2.0%	10.9	48	511	2.5%	1.3	50	5,439	2.9%	14.1	55
広島	2,802	66%	17.4	55	140	27%	0.9	48	2,697	50%	16.8	60
広島西	188	4%	9.4	47	0	0%	0	43	180	3%	9.0	46
呉	106	3%	2.5	40	76	15%	1.8	53	314	6%	7.3	43
広島中央	248	6%	9.2	47	30	6%	1.1	49	216	4%	8.0	44
尾三	325	8%	7.3	45	75	15%	1.7	52	477	9%	10.7	49
福山・府中	462	11%	6.5	44	100	20%	1.4	51	1,312	24%	18.6	63
備北	96	2%	4.7	42	90	18%	4.4	67	243	4%	11.9	51
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア				シェア 県内 シェア				シェア 県内 シェア		
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
広島県	6,412	3.4%	16.6	58	362	3.9%	0.9	53	6,050	3.4%	15.7	58
広島	2,842	44%	17.7	60	0	0%	0	45	2,842	47%	17.7	61
広島西	294	5%	14.7	55	0	0%	0	45	294	5%	14.7	56
呉	430	7%	10.0	48	70	19%	1.6	59	360	6%	8.4	46
広島中央	570	9%	21.2	66	156	43%	5.8	92	414	7%	15.4	58
尾三	537	8%	12.0	51	0	0%	0	45	537	9%	12.0	52
福山・府中	1,627	25%	23.1	69	106	29%	1.5	58	1,521	25%	21.6	68
備北	112	2%	5.5	40	30	8%	1.5	57	82	1%	4.0	38
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア				シェア 県内 シェア				シェア 県内 シェア		
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
広島県	4,738	3.1%	12.3	62	3,605	3.1%	9.3	60	1,133	3.0%	2.9	58
広島	2,107	44%	13.1	65	1,496	42%	9.3	60	611	54%	3.8	69
広島西	262	6%	13.1	65	207	6%	10.4	64	55	5%	2.7	56
呉	508	11%	11.8	60	400	11%	9.3	60	108	10%	2.5	53
広島中央	396	8%	14.7	72	313	9%	11.6	70	83	7%	3.1	60
尾三	548	12%	12.2	62	443	12%	9.9	62	105	9%	2.4	51
福山・府中	710	15%	10.1	53	574	16%	8.1	55	136	12%	1.9	46
備北	207	4%	10.1	53	172	5%	8.4	56	35	3%	1.7	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

34. 広島県

資_図表 34-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
41,801	2.9%	108	63	36,510	3.0%	94	63	5,291	2.4%	13.7	51
17,752	42%	110	64	14,722	40%	91	61	3,030	57%	18.8	60
1,651	4%	83	47	1,457	4%	73	49	193	4%	9.7	43
4,248	10%	99	57	3,734	10%	87	58	515	10%	12.0	48
3,020	7%	112	65	2,804	8%	104	70	216	4%	8.0	40
4,464	11%	100	57	3,998	11%	89	60	466	9%	10.4	45
8,215	20%	116	68	7,506	21%	106	72	710	13%	10.1	44
2,451	6%	120	70	2,290	6%	112	76	161	3%	7.9	40

平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 34-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
広島県	30,070	4.1%	78	64	9,713	2.8%	25	54	36,191	2.5%	94	52
広島	16,165	54%	100	73	5,752	59%	36	66	17,763	49%	110	58
広島西	466	2%	23	41	401	4%	20	49	1,456	4%	73	46
呉	4,203	14%	98	72	991	10%	23	52	4,349	12%	101	55
広島中央	1,410	5%	52	53	465	5%	17	46	1,775	5%	66	43
尾三	2,512	8%	56	55	983	10%	22	51	4,171	12%	93	52
福山・府中	4,396	15%	62	57	860	9%	12	40	5,308	15%	75	46
備北	918	3%	45	50	261	3%	13	41	1,369	4%	67	44

出典 平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 34-21 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)⁴ — 合計病床数
(高度急性期+急性期+回復期+慢性期)

二次医療圏	2014年 報告数	医療機関所在地			患者住所地 2025年 必要病床 数(推計)	医療機関 所在地/ 患者住所 地 (2025年)
		2025年 必要病床 数(推計)	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)		
全国	1,234,000	1,181,600	-52,400	-4%	1,181,700	100.0%
広島県	32,561	28,700	-3,861	-12%	28,300	98.6%
広島	14,180	11,326	-2,854	-20%	10,961	96.8%
広島西	2,169	1,722	-447	-21%	1,325	76.9%
呉	3,337	2,209	-1,128	-34%	2,378	107.7%
広島中央	2,524	1,726	-798	-32%	1,898	110.0%
尾三	3,818	2,538	-1,280	-34%	2,463	97.0%
福山・府中	5,209	4,169	-1,040	-20%	4,279	102.6%
備北	1,734	1,048	-686	-40%	1,017	97.0%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」					

資_図表 34-22 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計) — 高度急性期病床数

二次医療圏	合計病床数			高度急性期病床数						
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	医療機関 所在地/ 患者住所 地 (2025年)
全国	1,234,000	1,181,600	1,181,700	191,000	15.5%	130,300	-60,700	-31.8%	130,300	100.0%
広島県	32,561	28,700	28,300	4,787	14.7%	3,000	-1,787	-37.3%	3,000	100.0%
広島	14,180	11,326	10,961	2,858	20.2%	1,188	-1,670	-58.4%	1,087	91.5%
広島西	2,169	1,722	1,325	561	25.9%	116	-445	-79.3%	104	89.7%
呉	3,337	2,209	2,378	55	1.6%	215	160	290.9%	215	100.0%
広島中央	2,524	1,726	1,898	83	3.3%	91	8	9.6%	149	163.7%
尾三	3,818	2,538	2,463	394	10.3%	181	-213	-54.1%	198	109.4%
福山・府中	5,209	4,169	4,279	806	15.5%	393	-413	-51.2%	407	103.6%
備北	1,734	1,048	1,017	30	1.7%	55	25	83.3%	67	121.8%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」									

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

合計病床数には無回答が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

34. 広島県

資_図表 34-23 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)⁵ — 急性期病床数

二次医療圏	合計病床数			急性期病床数						
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	医療機関 所在地/ 患者住所 地 (2025年)
全国	1,234,000	1,181,600	1,181,700	581,000	47.1%	400,600	-180,400	-31.0%	400,600	100.0%
広島県	32,561	28,700	28,300	14,178	43.5%	9,200	-4,978	-35.1%	9,100	98.9%
広島	14,180	11,326	10,961	5,591	39.4%	3,504	-2,087	-37.3%	3,308	94.4%
広島西	2,169	1,722	1,325	299	13.8%	356	57	19.1%	319	89.6%
呉	3,337	2,209	2,378	1,849	55.4%	661	-1,188	-64.3%	668	101.1%
広島中央	2,524	1,726	1,898	1,235	48.9%	419	-816	-66.1%	524	125.1%
尾三	3,818	2,538	2,463	1,986	52.0%	733	-1,253	-63.1%	706	96.3%
福山・府中	5,209	4,169	4,279	2,438	46.8%	1,256	-1,182	-48.5%	1,319	105.0%
備北	1,734	1,048	1,017	811	46.8%	255	-556	-68.6%	265	103.9%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」									

資_図表 34-24 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計) — 回復期病床数

二次医療圏	合計病床数			回復期病床数						
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	医療機関 所在地/ 患者住所 地 (2025年)
全国	1,234,000	1,181,600	1,181,700	110,000	8.9%	375,200	265,200	241.1%	375,300	100.0%
広島県	32,561	28,700	28,300	3,284	10.1%	9,900	6,616	201.5%	9,700	98.0%
広島	14,180	11,326	10,961	1,400	9.9%	4,266	2,866	204.7%	4,055	95.1%
広島西	2,169	1,722	1,325	180	8.3%	521	341	189.4%	463	88.9%
呉	3,337	2,209	2,378	405	12.1%	790	385	95.1%	804	101.8%
広島中央	2,524	1,726	1,898	251	9.9%	516	265	105.6%	610	118.2%
尾三	3,818	2,538	2,463	265	6.9%	954	689	260.0%	892	93.5%
福山・府中	5,209	4,169	4,279	695	13.3%	1,636	941	135.4%	1,656	101.2%
備北	1,734	1,048	1,017	88	5.1%	269	181	205.7%	290	107.8%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」									

⁵必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

合計病床数には無回答が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

資_図表 34-25 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)⁶ — 慢性期病床数

二次医療圏	合計病床数			慢性期病床数						
	2014年 報告数	2025年 必要病床 数(推計) 医療施設 住所地	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	2014年 報告数	合計に 対する 比率	2025年 必要病床 数(推計) 医療機関 所在地	報告数と 必要数 (推計)の差	差の割合 (%) (報告数を 分母)	2025年 必要病床 数(推計) 患者住所 地	医療機関 所在地/ 患者住所 地 (2025年)
全国	1,234,000	1,181,600	1,181,700	352,000	28.5%	275,500	-76,500	-21.7%	275,500	100.0%
広島県	32,561	28,700	28,300	10,312	31.7%	6,600	-3,712	-36.0%	6,500	98.5%
広島	14,180	11,326	10,961	4,213	29.7%	2,368	-1,845	-43.8%	2,511	106.0%
広島西	2,169	1,722	1,325	1,129	52.1%	729	-400	-35.4%	439	60.2%
呉	3,337	2,209	2,378	952	28.5%	543	-409	-43.0%	691	127.3%
広島中央	2,524	1,726	1,898	930	36.8%	700	-230	-24.7%	615	87.9%
尾三	3,818	2,538	2,463	1,173	30.7%	670	-503	-42.9%	667	99.6%
福山・府中	5,209	4,169	4,279	1,166	22.4%	884	-282	-24.2%	897	101.5%
備北	1,734	1,048	1,017	805	46.4%	469	-336	-41.7%	395	84.2%
出典	都道府県ホームページ、社会保障制度改革推進本部「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第一次報告」									

⁶必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

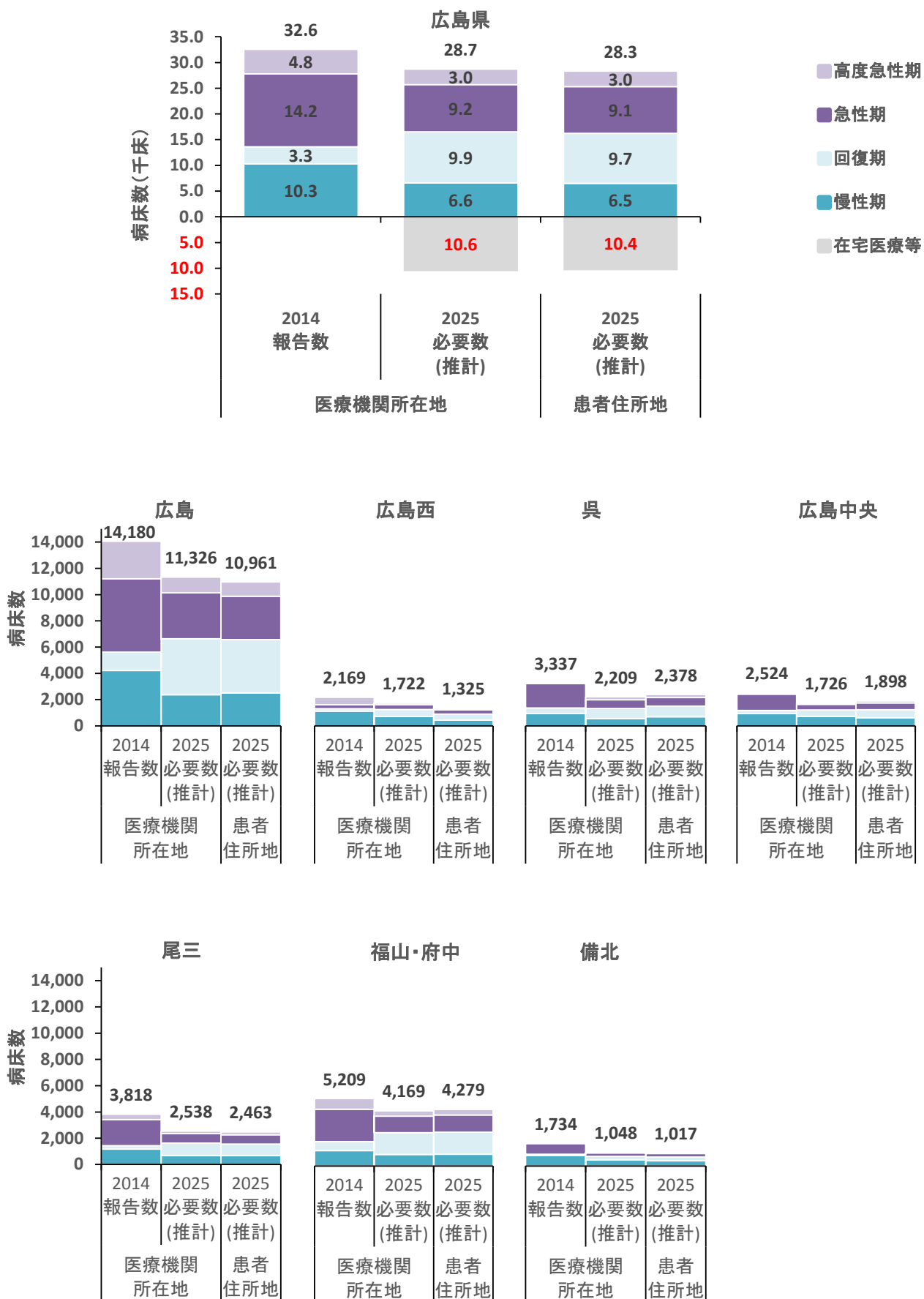
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

合計病床数には無回答が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

34. 広島県

資_図表 34-26 病床機能報告制度報告数と2025年必要病床数(推計)(再掲)



資_図表 34-27 公的病院病床数、民間病院病床数

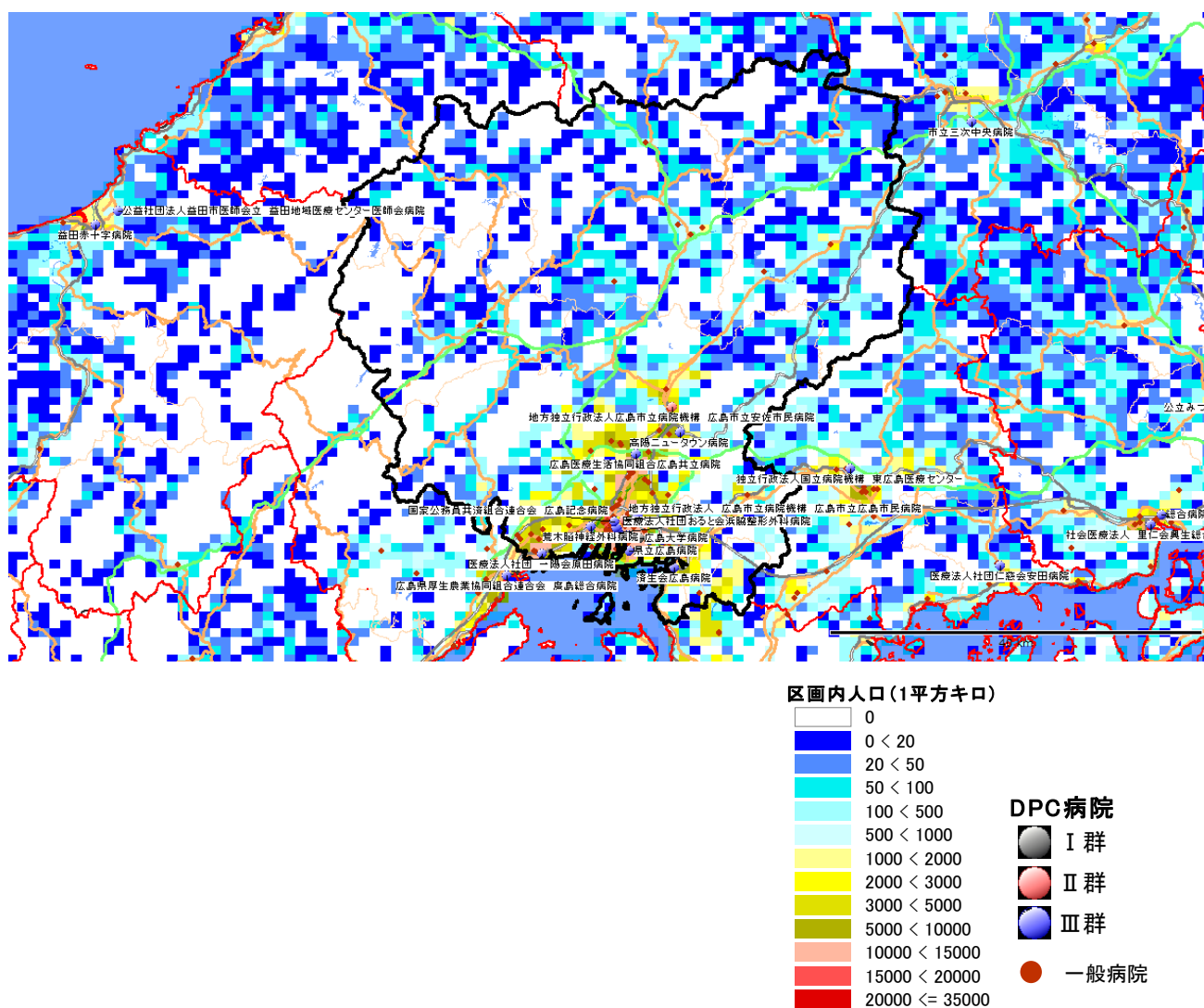
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
広島県	13,855	11,878	527	26,513	9,148	9,622	56.5%	52	5.2%	48
広島	5,591	4,667	268	11,462	4,149	4,337	52.9%	50	5.8%	49
広島西	1,049	1,049	0	1,512	87	949	92.3%	67	0.0%	46
呉	1,787	1,691	0	2,774	618	859	73.2%	59	0.0%	46
広島中央	1,364	960	20	2,043	731	704	56.8%	52	2.8%	47
尾三	1,504	1,356	148	2,976	1,198	861	53.1%	50	14.7%	52
福山・府中	1,771	1,407	50	4,722	2,285	1,203	38.1%	44	4.0%	48
備北	789	748	41	1,024	80	709	90.3%	66	5.5%	48
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

34. 広島県

ひろしま 34-1. 広島医療圏

構成市区町村¹ 中区,東区,南区,西区,安佐南区,安佐北区,安芸区,佐伯区,安芸高田市,府中町,海田町,熊野町,坂町,安芸太田町,北広島町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 広島医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(広島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島(広島市)は、総人口約 1357 千人(2015 年推計)、面積 2505 km²、人口密度は 542 人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島の総人口は 2025 年に 1329 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 1226 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 161 千人が、2025 年にかけて 235 千人へと増加し(2015 年比+46%)、2040 年には 247 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島の一人当たり医療費(国保)は 394 千円(偏差値 70)、介護給付費は 274 千円(偏差値 56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.95 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 53(病院医師数 50、診療所医師数 58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 54 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 48 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 57 と多い。広島には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の広島市民病院(Ⅱ群・救命)、県立広島病院(救命)、安佐市民病院(Ⅱ群)、広島大学病院(Ⅰ群・救命)、1000 例以上の広島赤十字・原爆病院、中電病院、マツダ病院、500 例以上のあかね会土谷総合病院、広島鉄道病院、広島記念病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 60 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17974 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 9493 床(偏差値 50)、高齢者住宅等が 8481 床(偏差値 61)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14722 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 63、有料老人ホーム 55、軽費ホーム 48、グループホーム 60、サ高住 60 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 68 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 52 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、3030 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

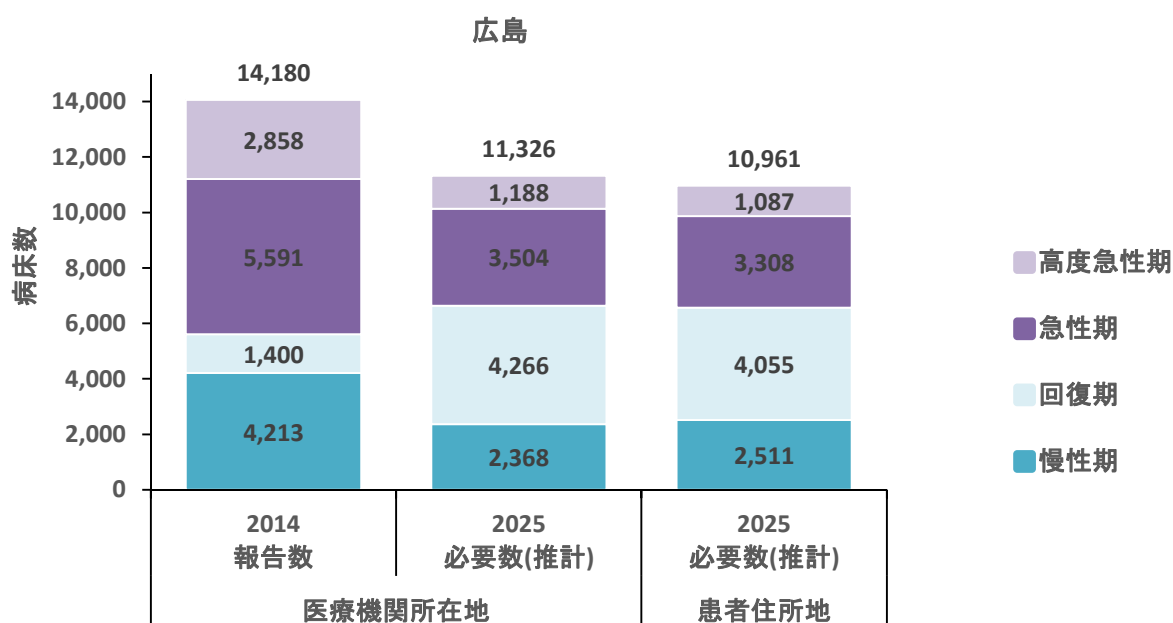
①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は14180床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は11326床であり、その差は-2854床(-20%)である。

②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は2858床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1188床であり、その差は-1670床(-58%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は5591床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3504床であり、その差は-2087床(-37%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1400床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4266床であり、その差は+2866床(+205%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は4213床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2368床であり、その差は-1845床(-44%)である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁵は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-39%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

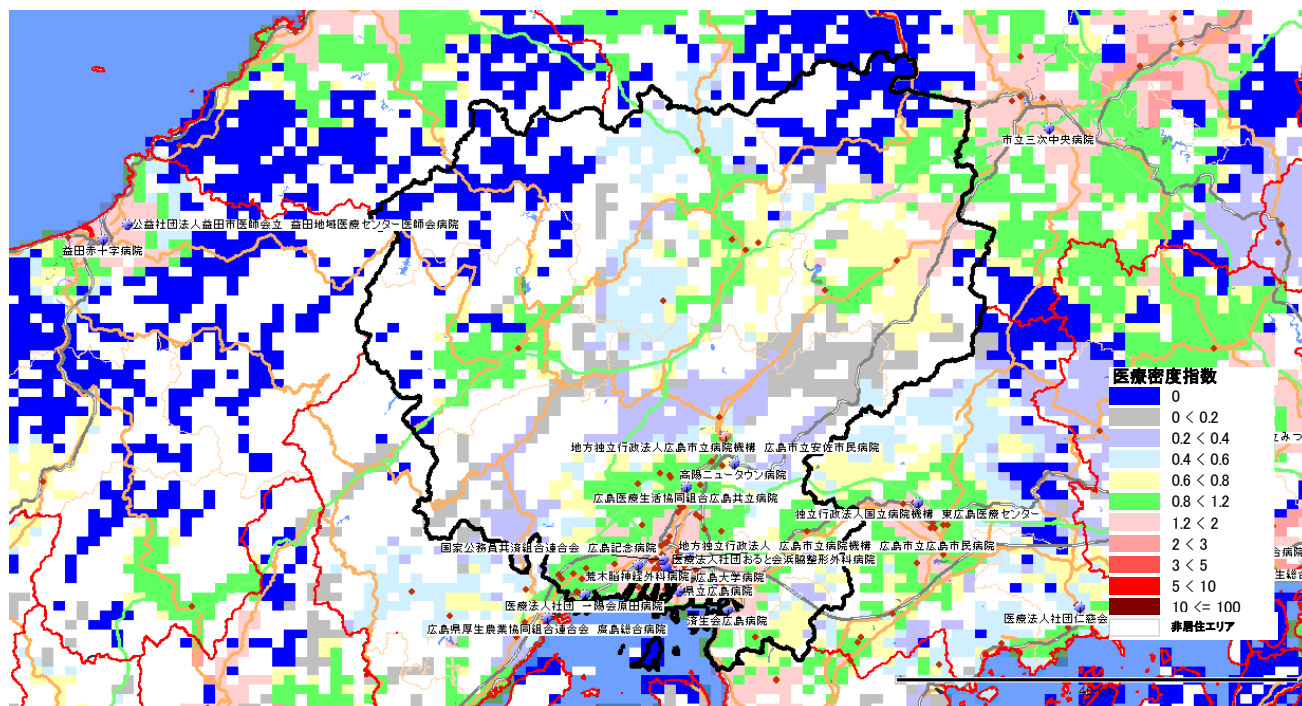
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

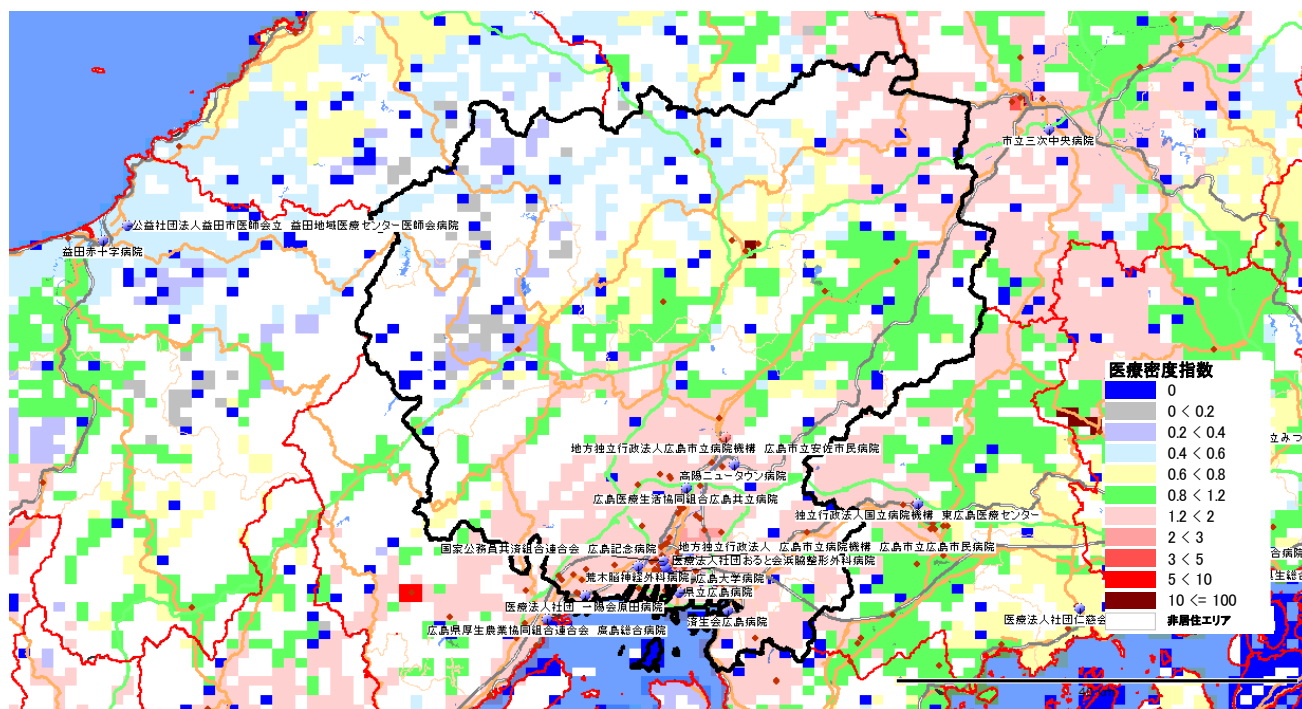
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-1-2 慢性期医療密度指数マップ

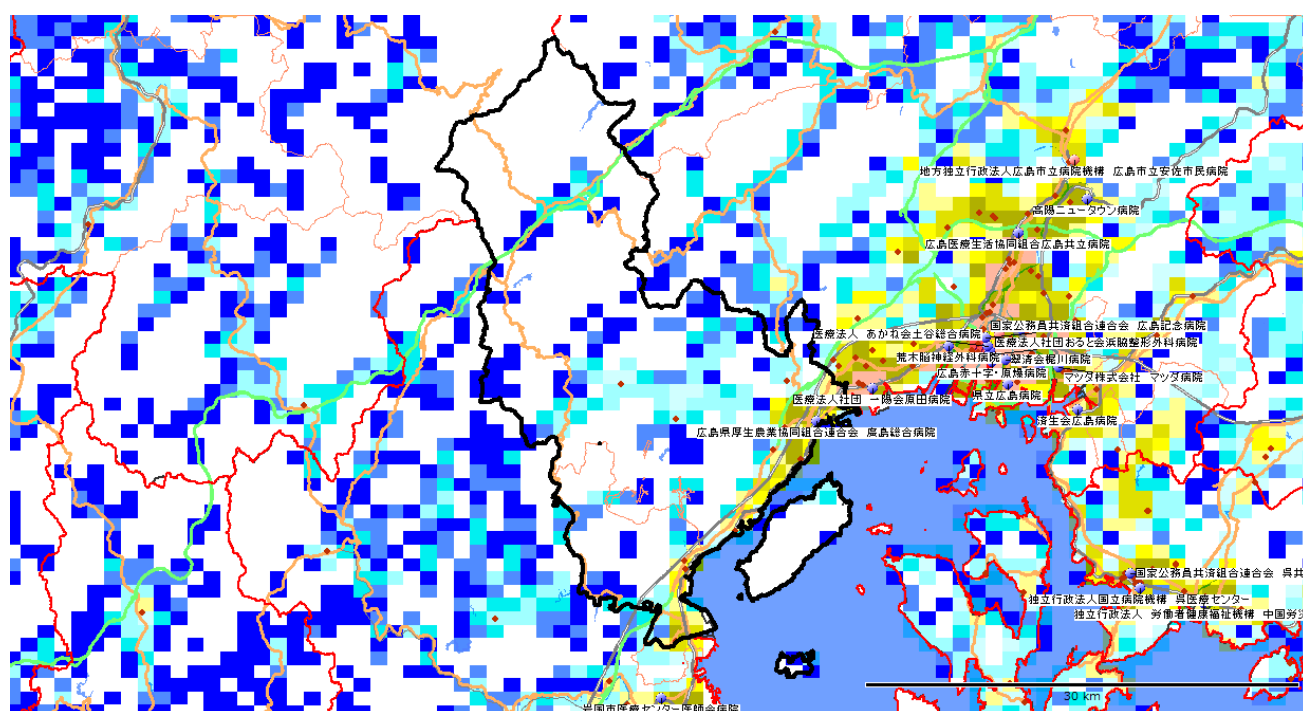


⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

ひろしまにし 34-2. 広島西医療圏

構成市区町村¹ [大竹市](#), [廿日市市](#)

人口分布² (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 広島西医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(広島西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島西(大竹市)は、総人口約 139 千人(2015 年推計)、面積 568 km²、人口密度は 245 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島西の総人口は 2025 年に 129 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 108 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 20 千人が、2025 年にかけて 27 千人へと増加し(2015 年比+35%)、2040 年には 28 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島西の一人当たり医療費(国保)は 358 千円(偏差値 62)、介護給付費は 240 千円(偏差値 47)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島西の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.44 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 51(病院医師数 51、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 53 とやや多い。広島西には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の広島総合病院(救命)、がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 72 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 65 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 53 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1847 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1185 床(偏差値 50)、高齢者住宅等が 662 床(偏差値 47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1457 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 42、介護療養型医療施設 66、有料老人ホーム 47、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 46、サ高住 55 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 57 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、193 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 43)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

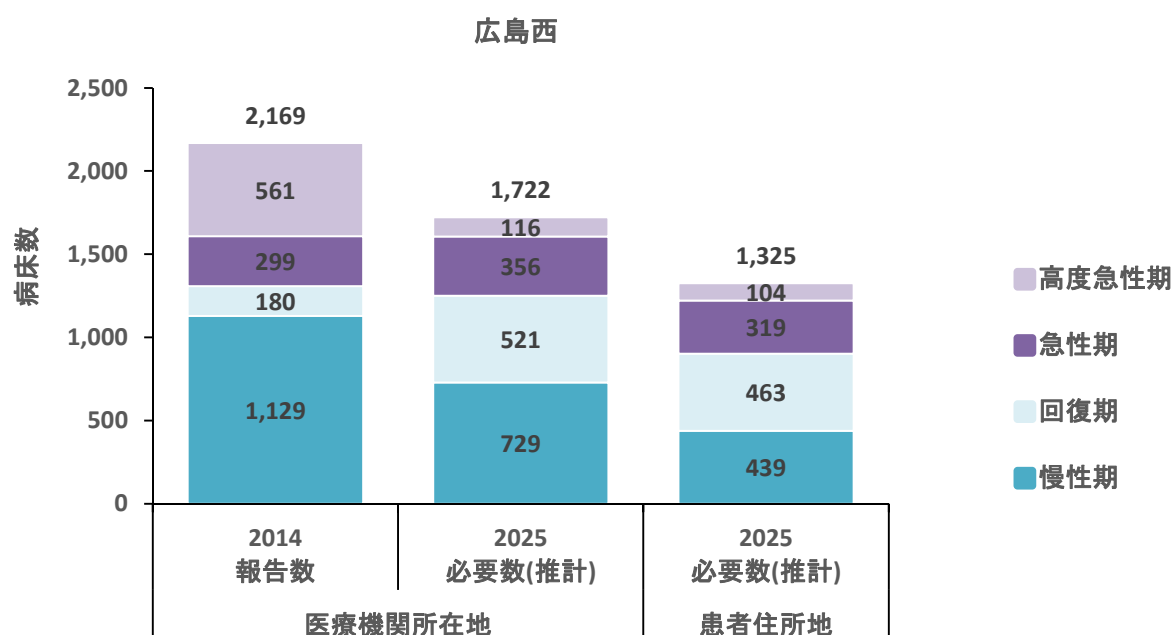
①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は2169床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1722床であり、その差は-447床(-21%)である。

②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は561床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は116床であり、その差は-445床(-79%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は299床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は356床であり、その差は+57床(+19%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は180床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は521床であり、その差は+341床(+189%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は1129床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は729床であり、その差は-400床(-35%)である。



***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁵は-7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-52%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

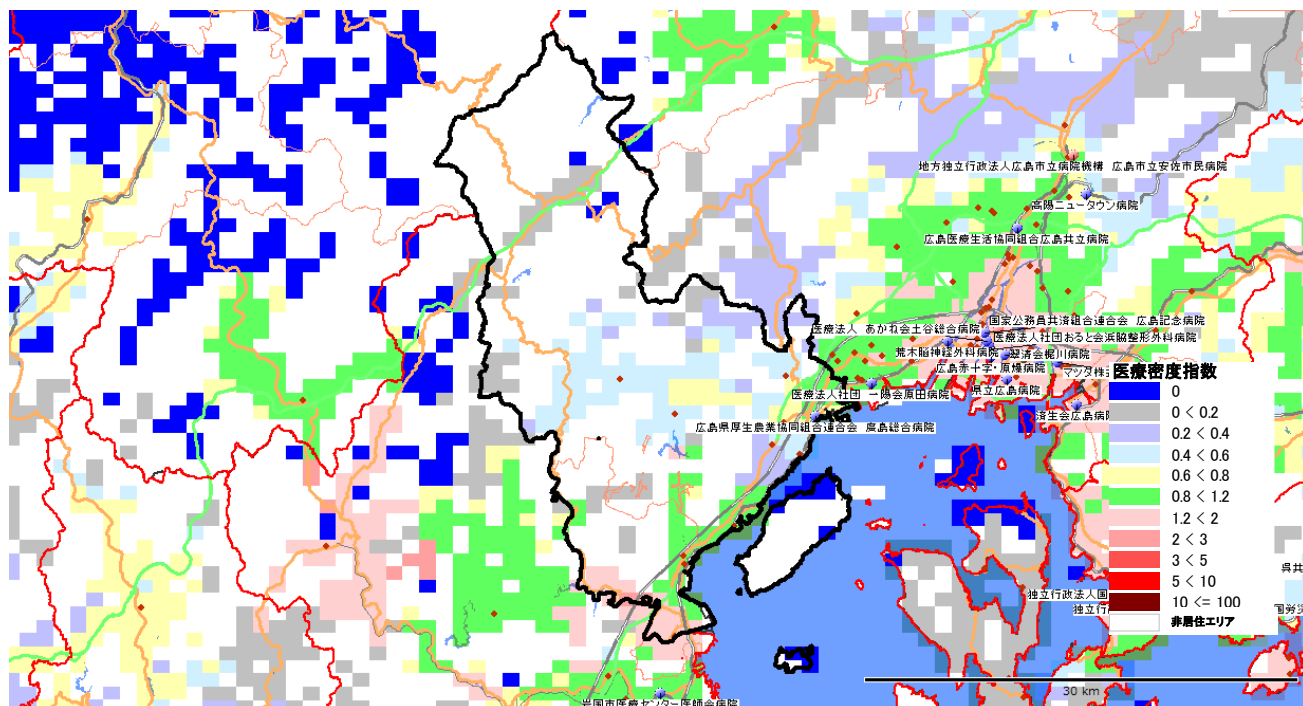
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

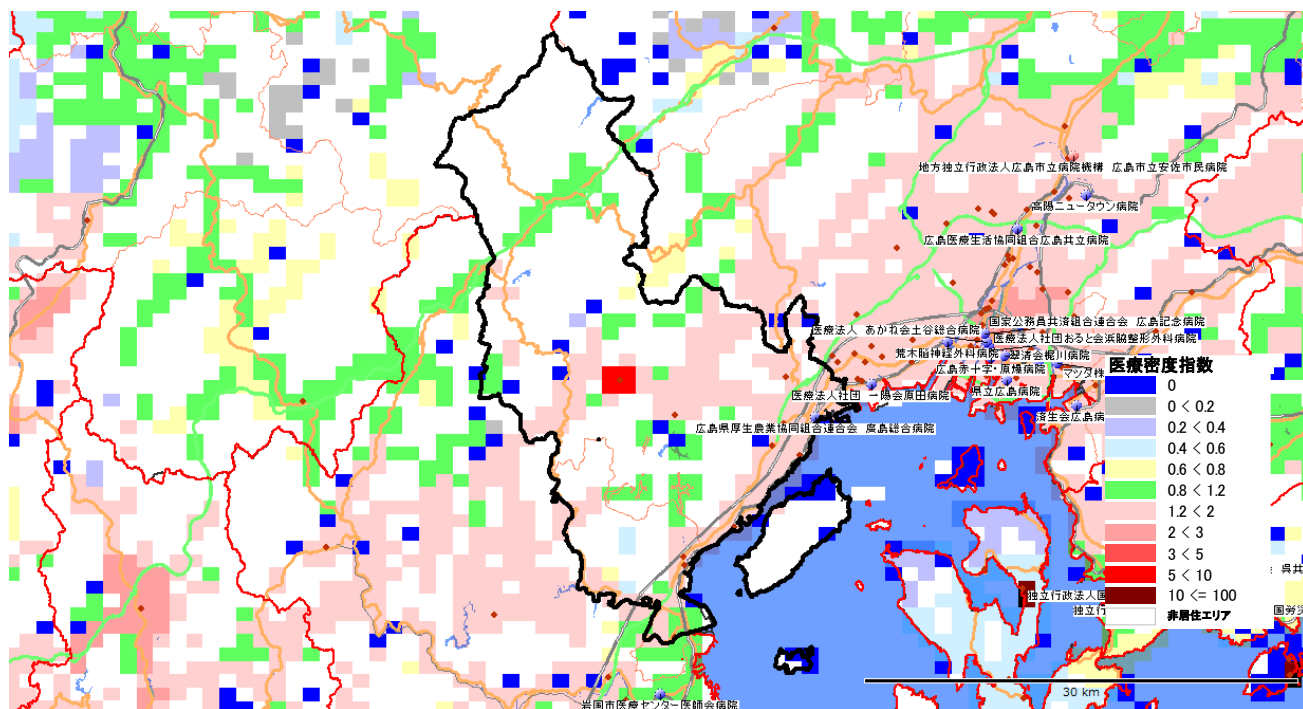
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-2-2 慢性期医療密度指数マップ

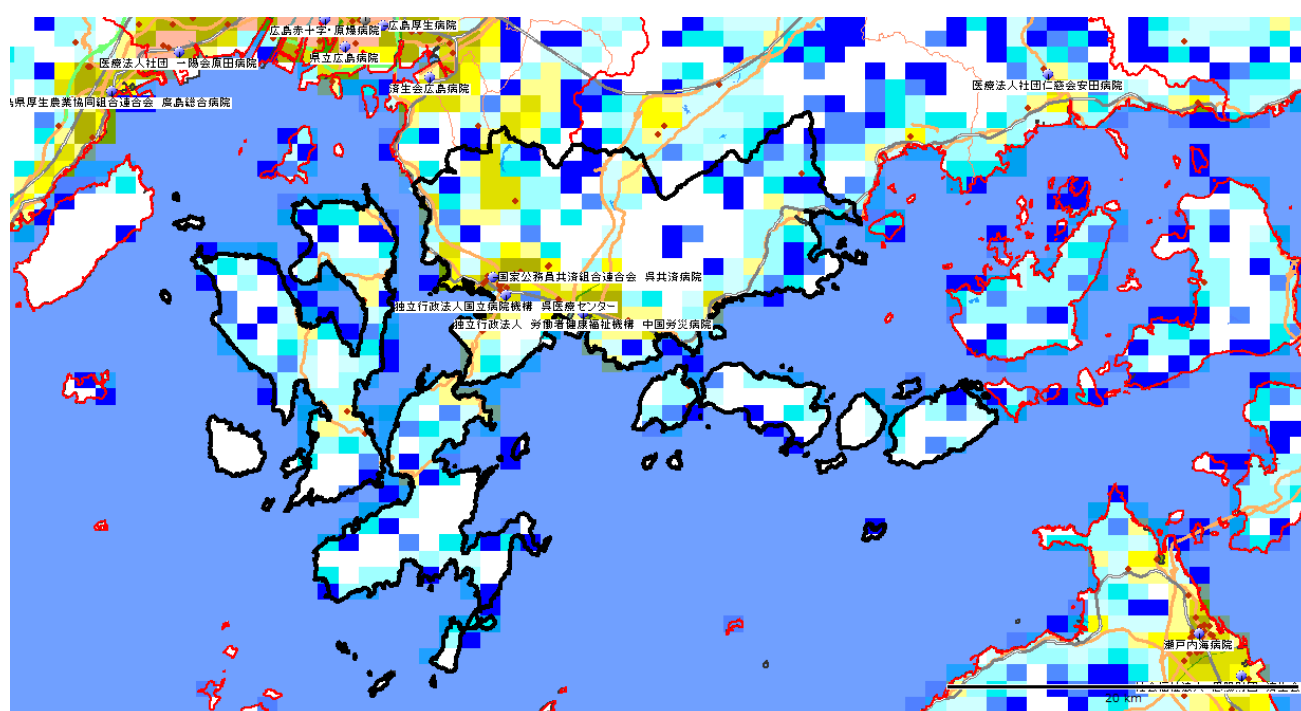


⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

34-3. くれ 呉医療圏

構成市区町村¹ [呉市](#), [江田島市](#)

人口分布² (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 呉医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(呉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 呉(呉市)は、総人口約 252 千人(2015 年推計)、面積 455 km²、人口密度は 554 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 呉の総人口は 2025 年に 222 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 176 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 43 千人が、2025 年にかけて 51 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 39 千人へと減少する(2025 年比-24%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 呉の一人当たり医療費(国保)は 415 千円(偏差値 75)、介護給付費は 250 千円(偏差値 50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 呉の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.24 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 58(病院医師数 56、診療所医師数 60)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 62 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 60 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 58 と多い。呉には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の呉医療センター(救命)、1000 例以上の中国労災病院、呉共済病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 62 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 65 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 呉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3987 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 3061 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 926 床(偏差値 39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3734 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 66、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 58、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 53、グループホーム 43、サ高住 48 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 57 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 47 とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、515 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

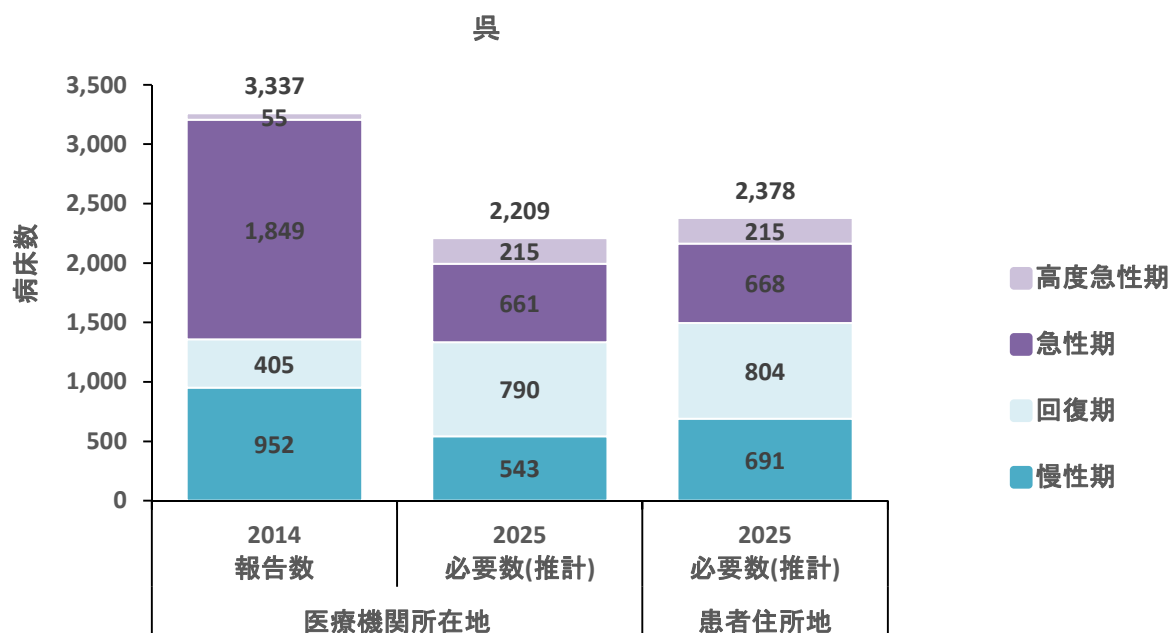
①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は3337床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2209床であり、その差は-1128床(-34%)である。

②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は55床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は215床であり、その差は+160床(+291%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は1849床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は661床であり、その差は-1188床(-64%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は405床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は790床であり、その差は+385床(+95%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は952床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は543床であり、その差は-409床(-43%)である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁵は±0%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

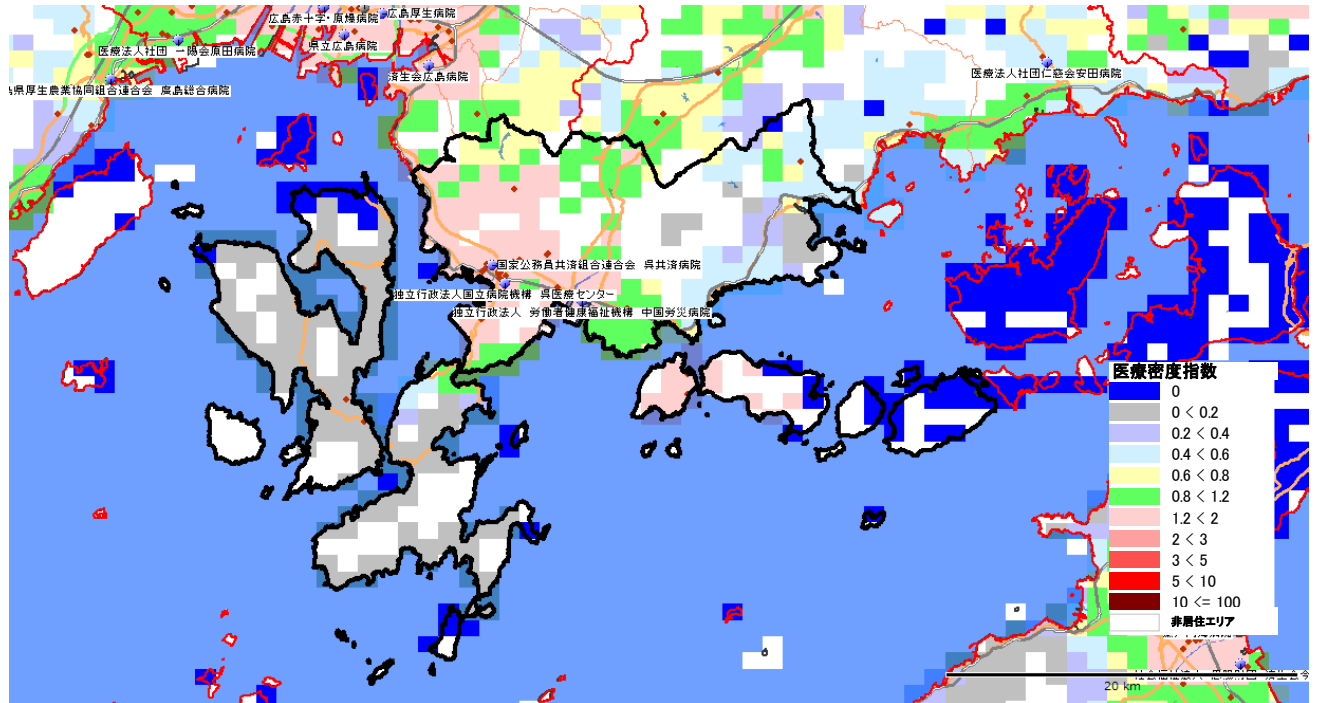
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

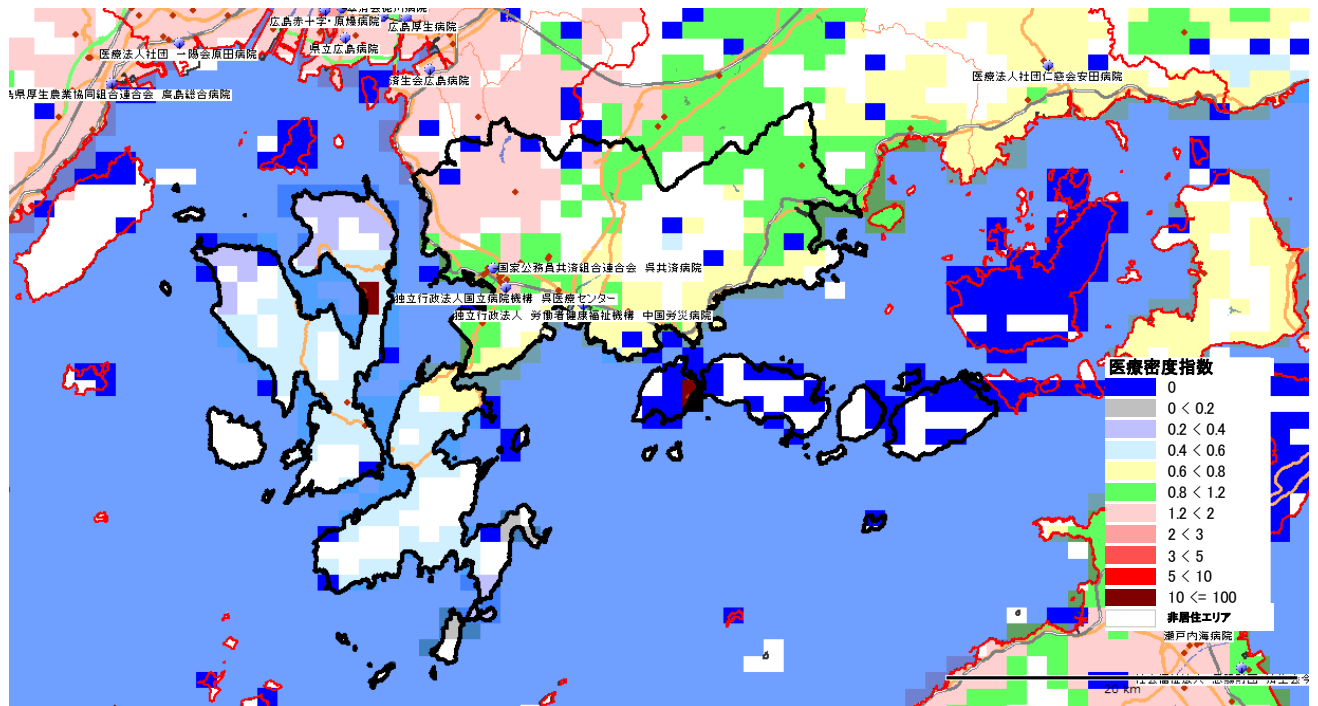
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-3-2 慢性期医療密度指数マップ

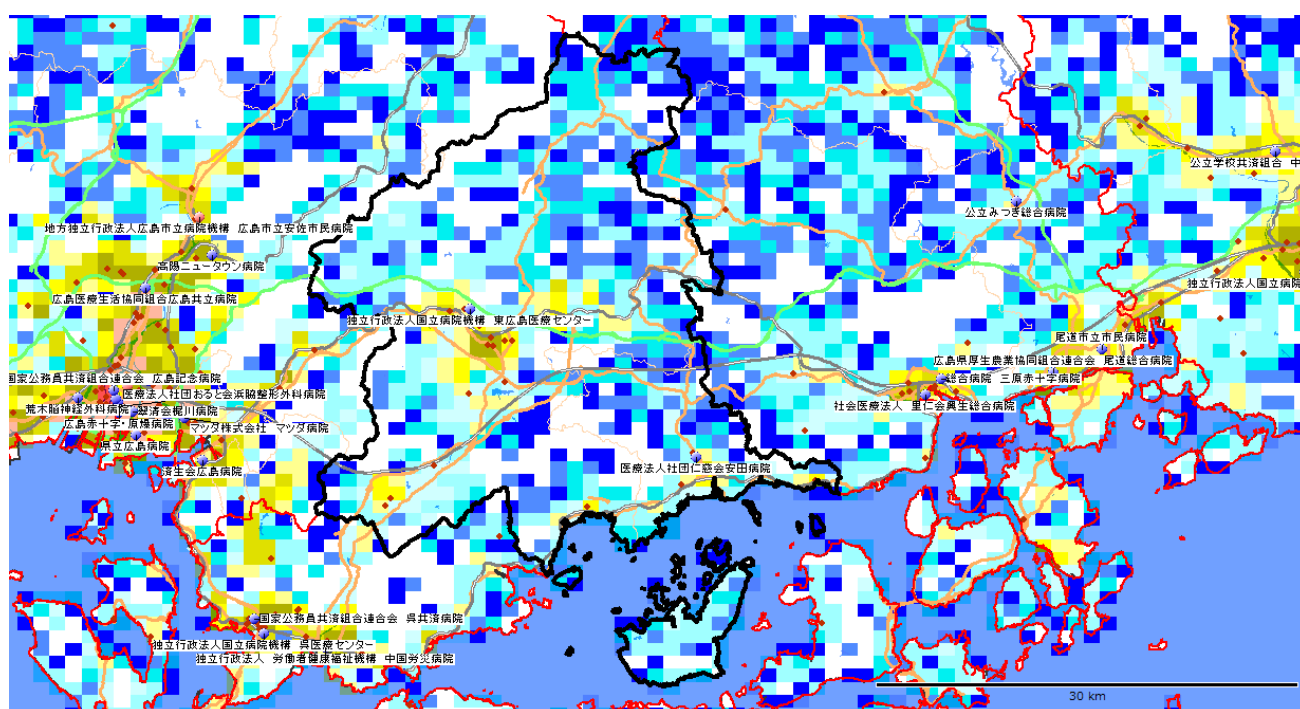


⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

ひろしまちゅうおう 34-4. 広島中央医療圏

構成市区町村¹ 竹原市,東広島市,大崎上島町

人口分布² (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 広島中央医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(広島中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島中央(東広島市)は、総人口約 227 千人(2015 年推計)、面積 797 km²、人口密度は 285 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島中央の総人口は 2025 年に 223 千人へと減少し(2015 年比-2%)、2040 年に 208 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 27 千人が、2025 年にかけて 37 千人へと増加し(2015 年比+37%)、2040 年には 38 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島中央の一人当たり医療費(国保)は 393 千円(偏差値 70)、介護給付費は 257 千円(偏差値 52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島中央の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.83、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.32 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 43、診療所医師数 48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 51 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 34 と非常に少ない。広島中央には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の東広島医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 42 と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3000 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1936 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 1064 床(偏差値 52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2804 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 70)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 60、特別養護老人ホーム 54、介護療養型医療施設 60、有料老人ホーム 47、軽費ホーム 49、グループホーム 44、サ高住 66 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 72 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 52 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、216 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 40)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

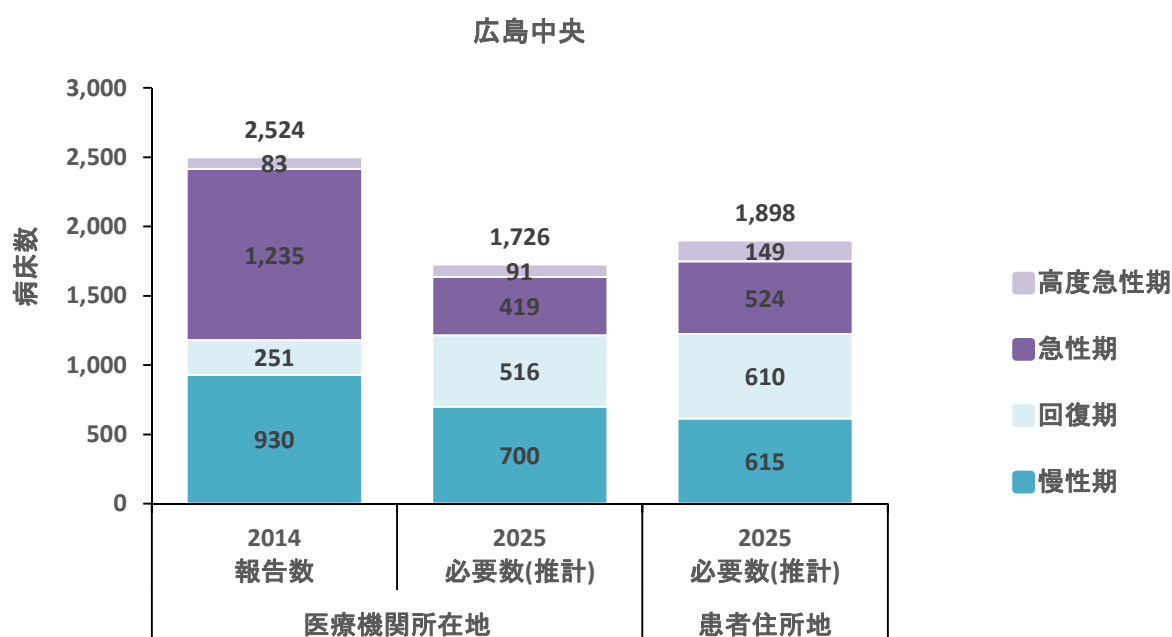
①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は2524床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1726床であり、その差は-798床(-32%)である。

②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は83床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は91床であり、その差は+8床(+10%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は1235床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は419床であり、その差は-816床(-66%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は251床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は516床であり、その差は+265床(+106%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は930床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は700床であり、その差は-230床(-25%)である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁵は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-23%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

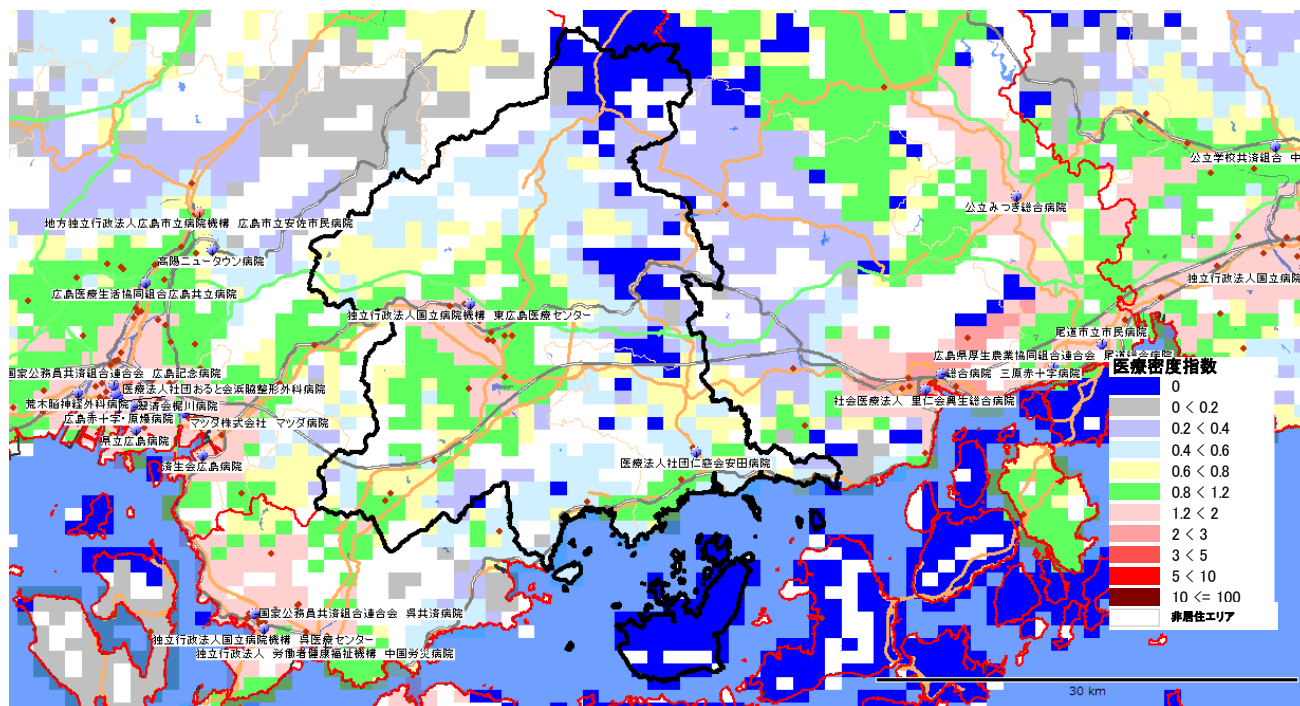
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

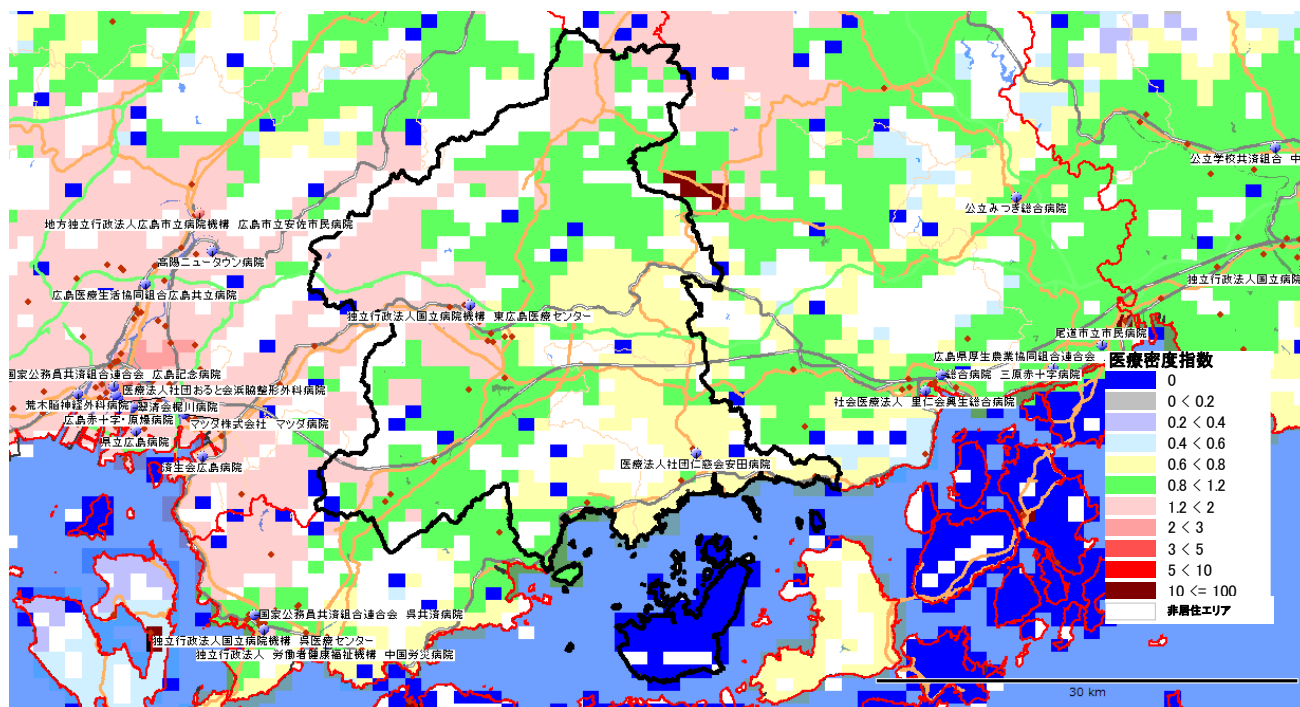
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-4-2 慢性期医療密度指数マップ



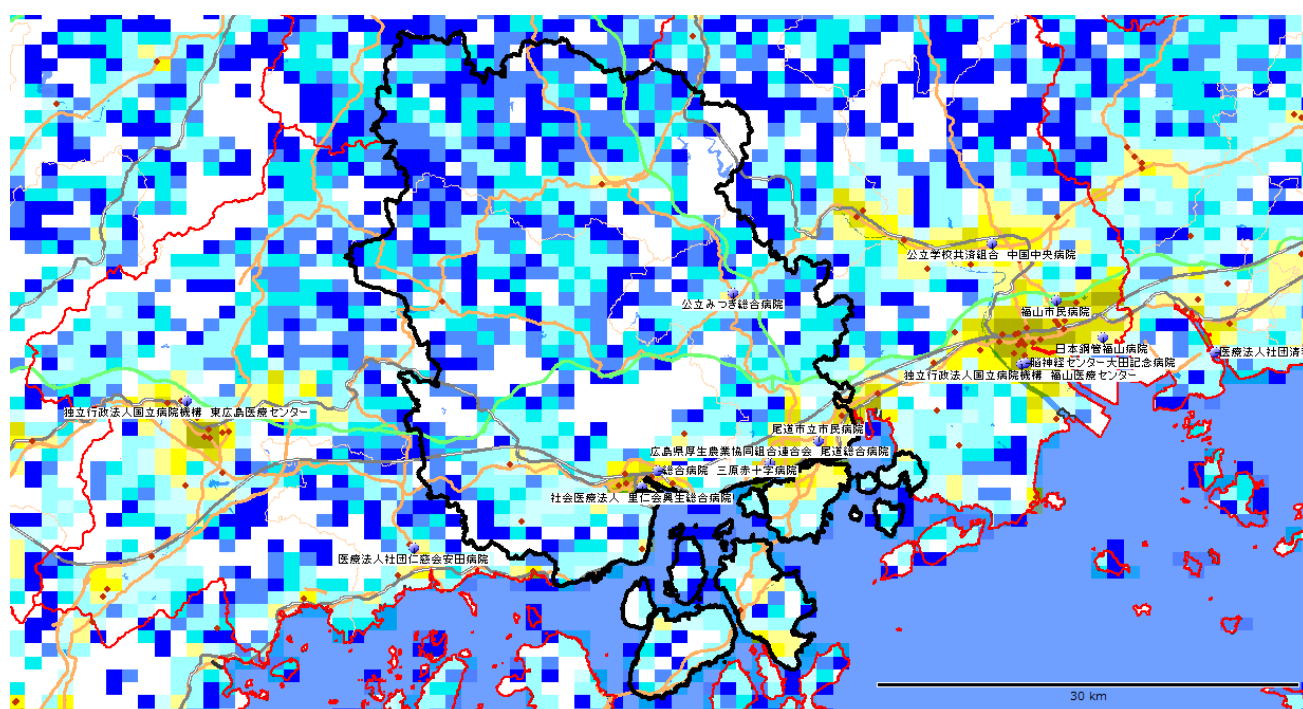
⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

びさん

34-5. 尾三医療圏

構成市区町村¹ 三原市,尾道市,世羅町

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 尾三医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(尾三医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 尾三(三原市)は、総人口約 252 千人(2015 年推計)、面積 1034 km²、人口密度は 243 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 尾三の総人口は 2025 年に 226 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 186 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 45 千人が、2025 年にかけて 52 千人へと増加し(2015 年比+16%)、2040 年には 46 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 尾三の一人当たり医療費(国保)は 373 千円(偏差値 65)、介護給付費は 290 千円(偏差値 61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 尾三の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.01 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 49、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 66 と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 64 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 58 と多い。尾三には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の尾道総合病院(救命)、尾道市立市民病院(救命)、500 例以上の里仁会興生総合病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 57 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 60 と多く、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 尾三の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4405 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 2991 床(偏差値 56)、高齢者住宅等が 1414 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3998 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 61、特別養護老人ホーム 47、介護療養型医療施設 62、有料老人ホーム 45、軽費ホーム 52、グループホーム 49、サ高住 51 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 63 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 47 とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、466 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は3818床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2538床であり、その差は-1280床(-34%)である。

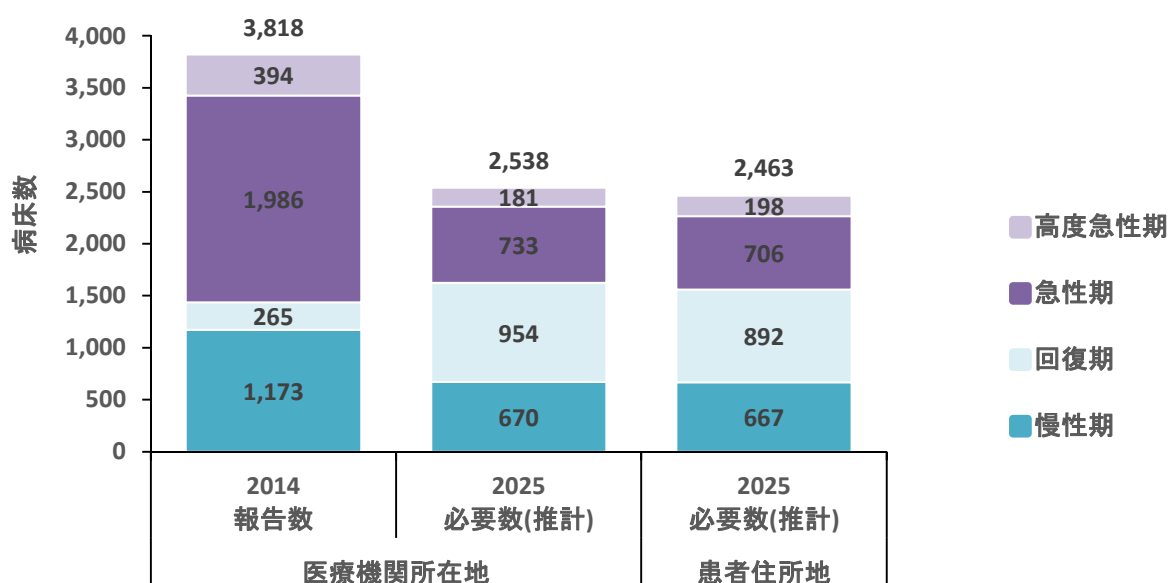
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は394床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は181床であり、その差は-213床(-54%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は1986床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は733床であり、その差は-1253床(-63%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は265床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は954床であり、その差は+689床(+260%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は1173床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は670床であり、その差は-503床(-43%)である。

尾三



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁵は+2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は±0%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

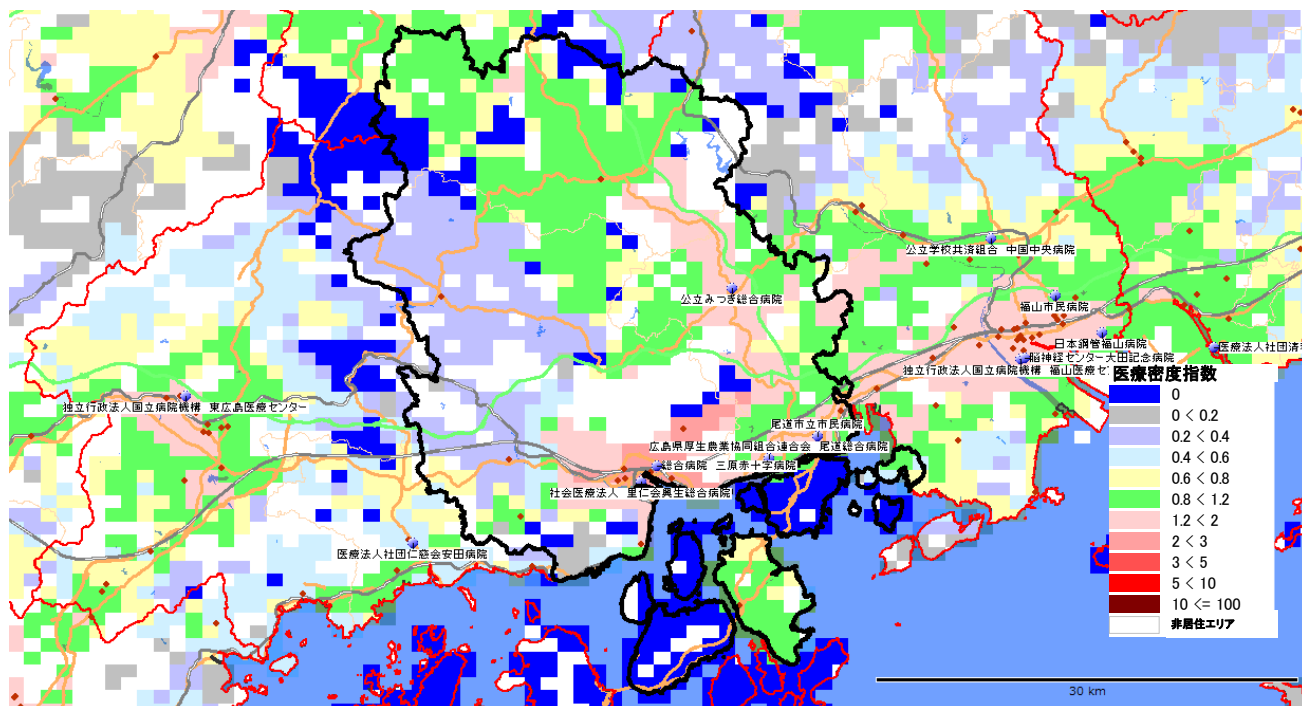
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

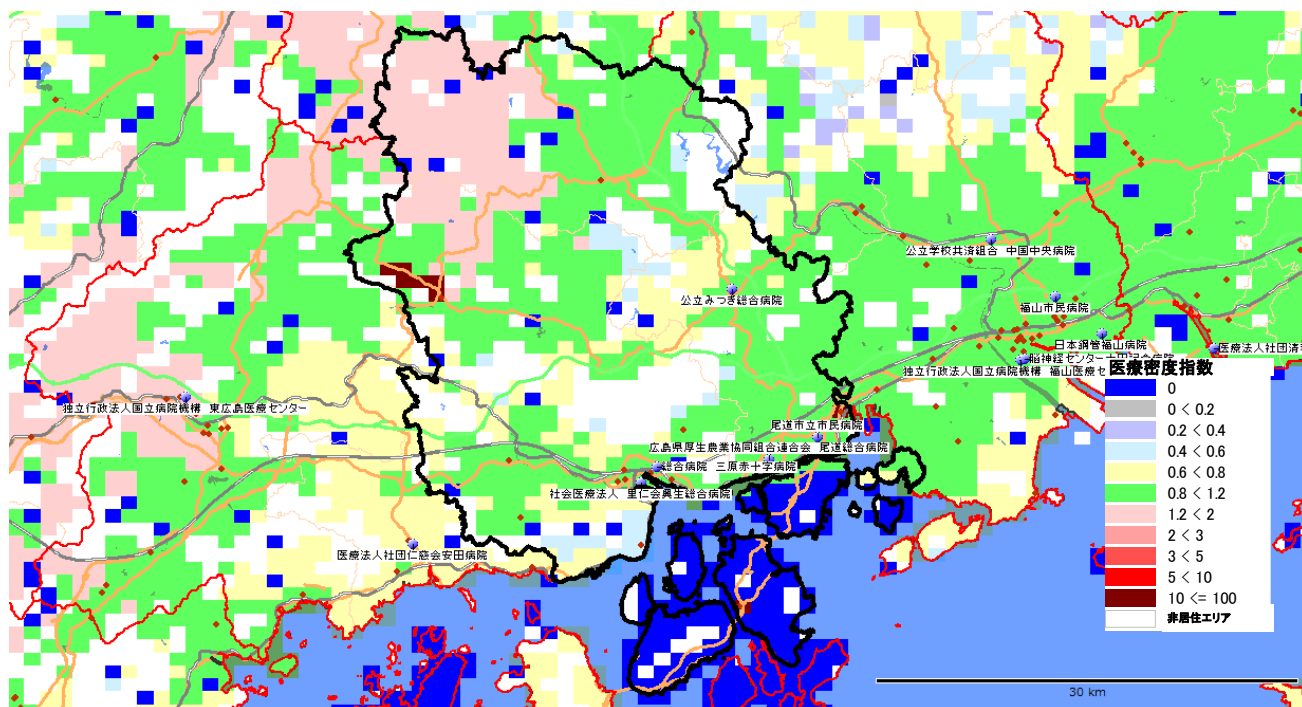
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-5-2 慢性期医療密度指数マップ

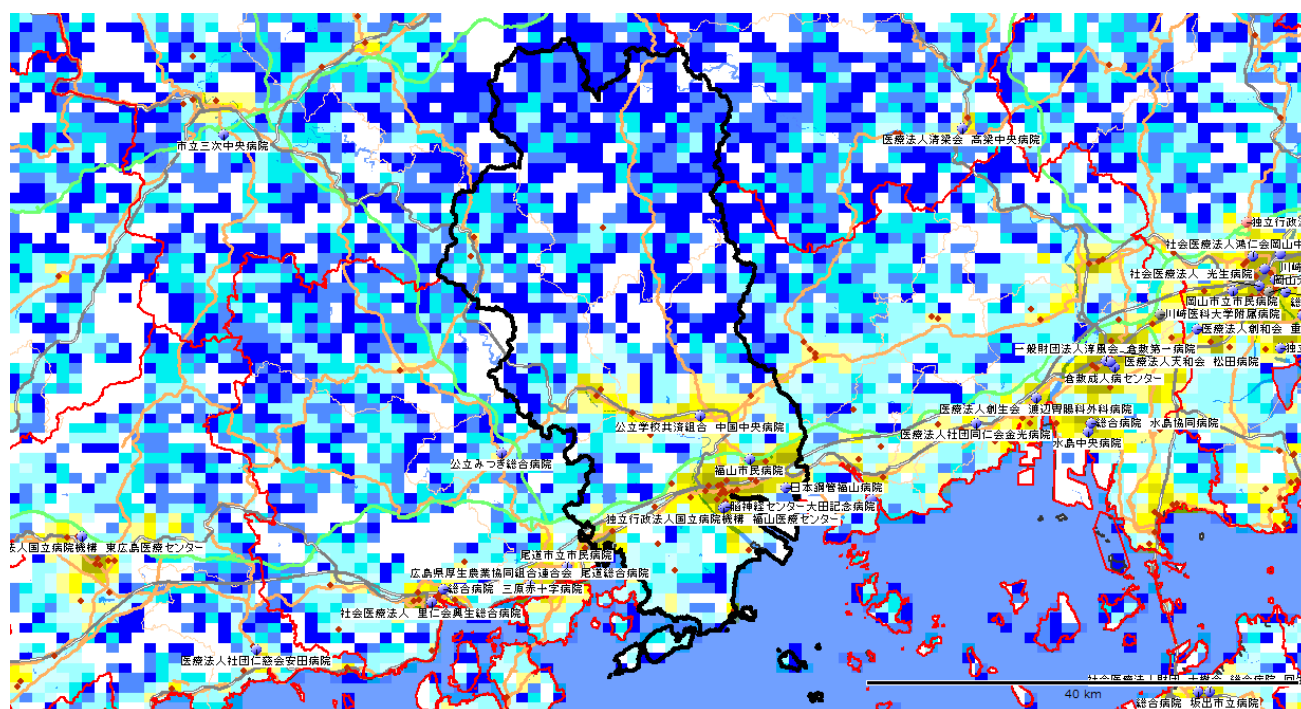


⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

34-6. 福山・府中医療圏

構成市区町村¹ 福山市,府中市,神石高原町

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 福山・府中医療圏を1 km²区画 (1 km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(福山・府中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 福山・府中(福山市)は、総人口約 507 千人(2015 年推計)、面積 1096 km²、人口密度は 463 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 福山・府中の総人口は 2025 年に 480 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 422 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 71 千人が、2025 年にかけて 94 千人へと増加し(2015 年比+32%)、2040 年には 93 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 福山・府中の一人当たり医療費(国保)は 342 千円(偏差値 58)、介護給付費は 276 千円(偏差値 57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 福山・府中の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は 3.04 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 45、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 55 とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。福山・府中には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の福山医療センター、福山市民病院(救命)、500 例以上の脳神経センター大田記念病院、中国中央病院、日本鋼管福山病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 49 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 54 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 47 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 福山・府中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7604 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4103 床(偏差値 50)、高齢者住宅等が 3501 床(偏差値 59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7506 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 72)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 49、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 52、有料老人ホーム 44、軽費ホーム 51、グループホーム 63、サ高住 69 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 59 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 63 と多い。介護職員(在宅)の合計は、710 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

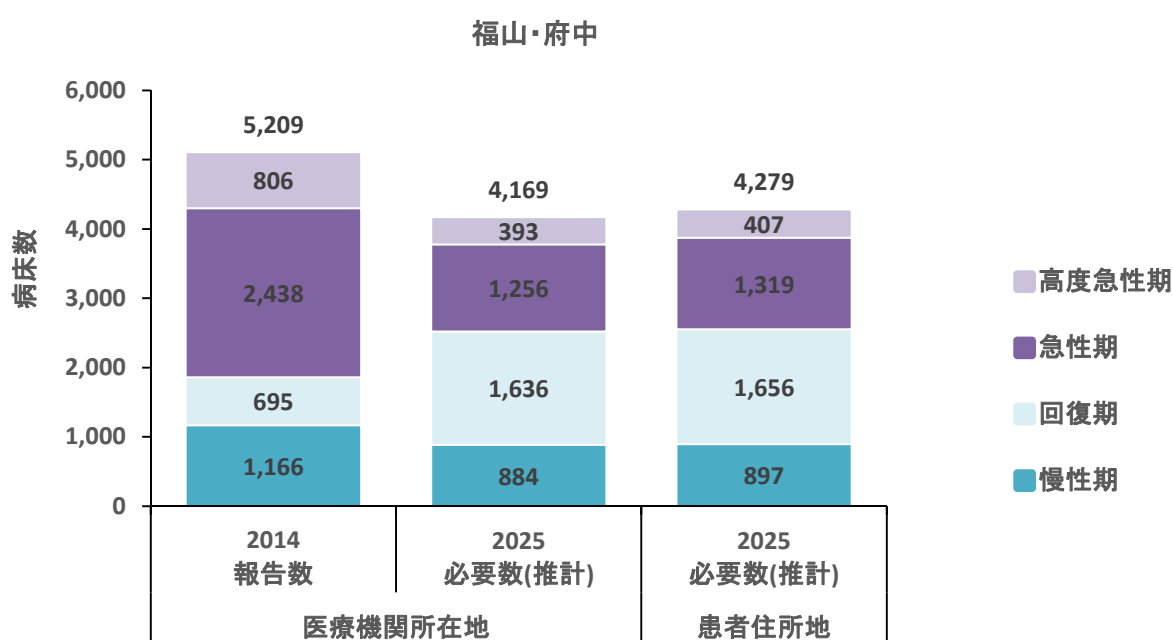
①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は5209床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4169床であり、その差は-1040床(-20%)である。

②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は806床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は393床であり、その差は-413床(-51%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は2438床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1256床であり、その差は-1182床(-48%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は695床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1636床であり、その差は+941床(+135%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は1166床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は884床であり、その差は-282床(-24%)である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁵は+3%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-28%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

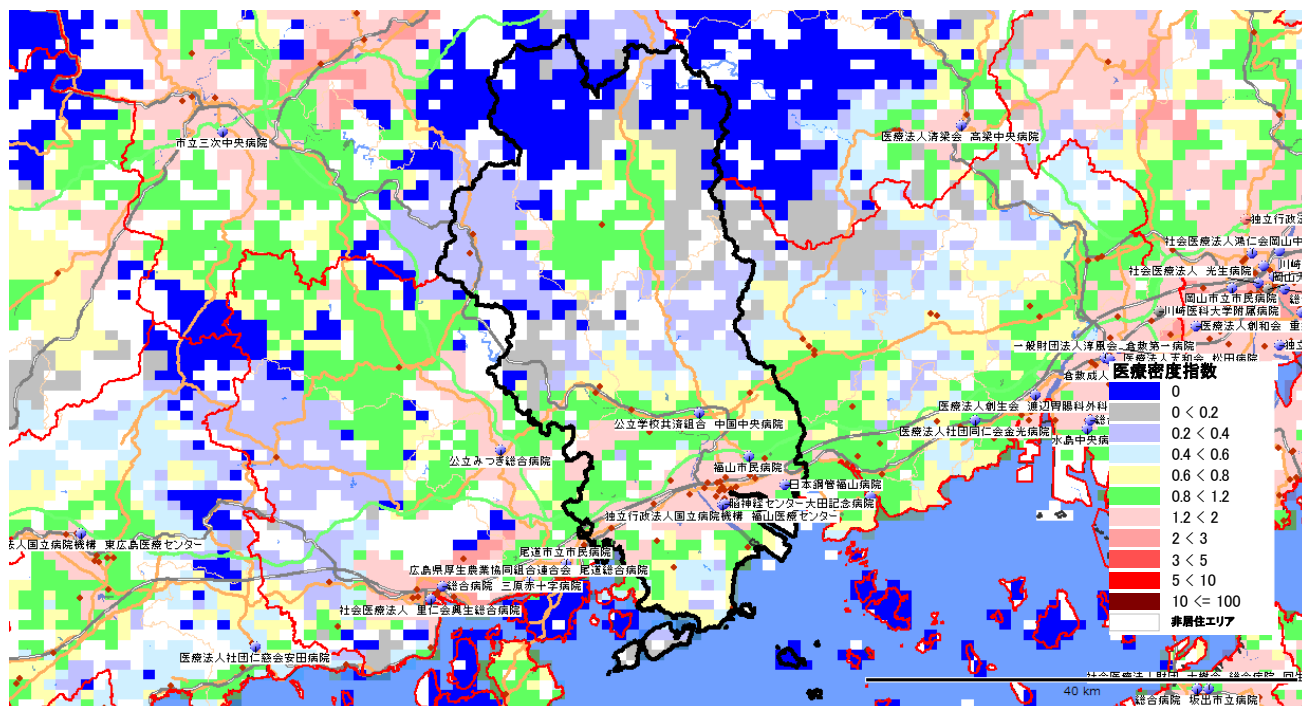
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

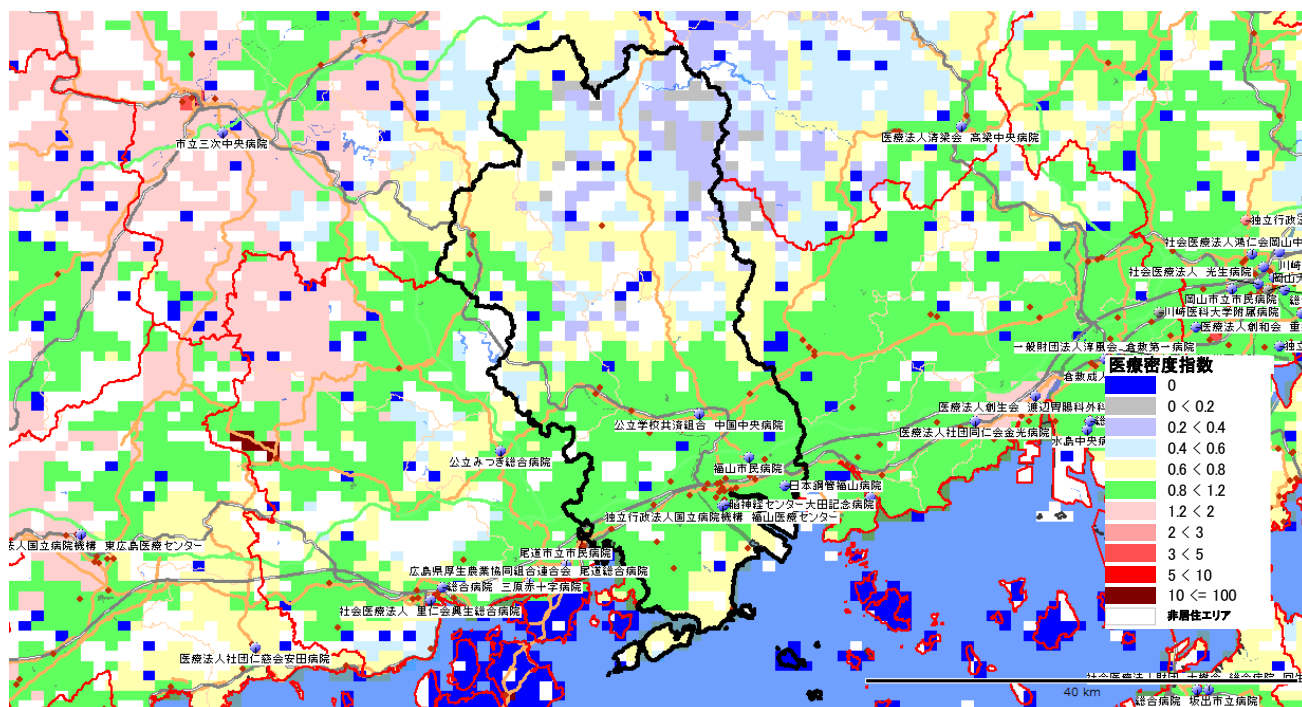
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-6-2 慢性期医療密度指数マップ

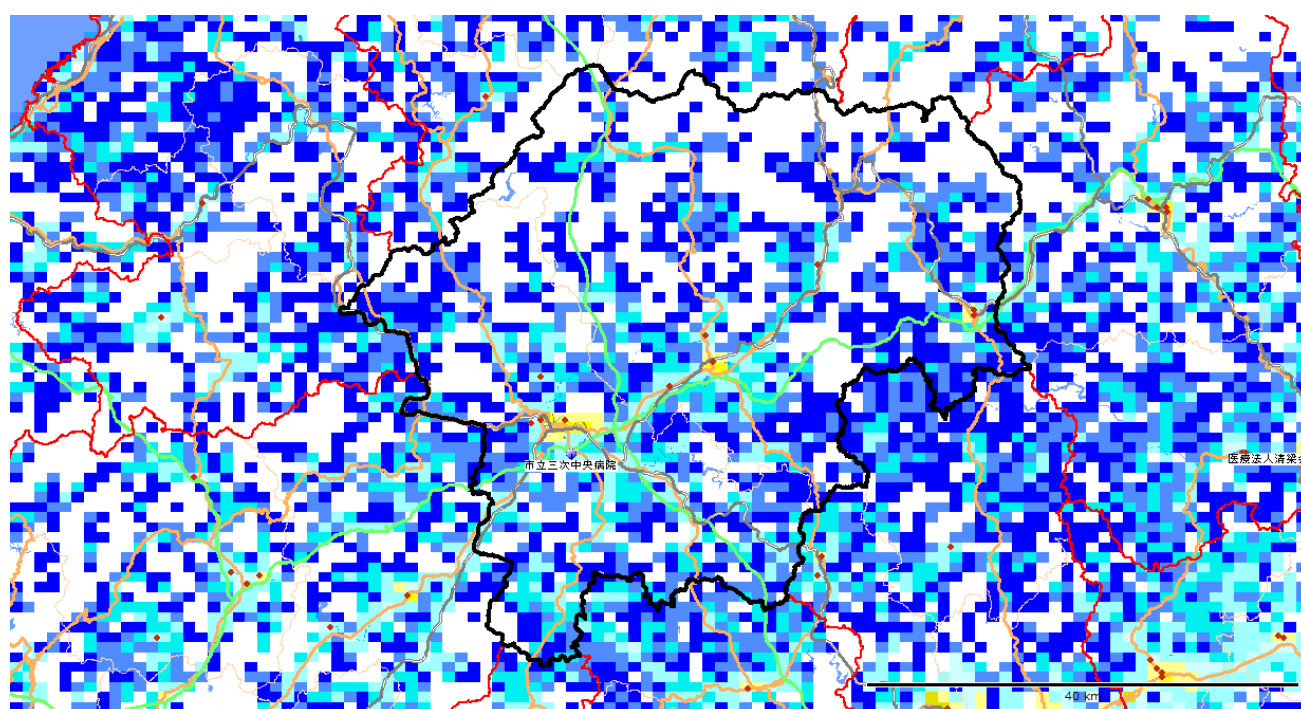


⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

34-7. びほく 備北医療圏

構成市区町村¹ [三次市](#), [庄原市](#)

人口分布² (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 備北医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(備北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 備北(三次市)は、総人口約 91 千人(2015 年推計)、面積 2025 km²、人口密度は 45 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 備北の総人口は 2025 年に 80 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 65 千人へと減少する(2025 年比-19%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 20 千人が、2025 年にかけて 21 千人へと増加し(2015 年比+5%)、2040 年には 18 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 備北の一人当たり医療費(国保)は 395 千円(偏差値 71)、介護給付費は 343 千円(偏差値 75)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 備北の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.13、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.59 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 50、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 62 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 59 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 48 と全国平均レベルである。備北には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の市立三次中央病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 77 と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 47 とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 64 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 備北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2052 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1511 床(偏差値 62)、高齢者住宅等が 541 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2290 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 76)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 54、特別養護老人ホーム 62、介護療養型医療施設 50、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 67、グループホーム 51、サ高住 40 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員(在宅)の合計は、161 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 40)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)⁴

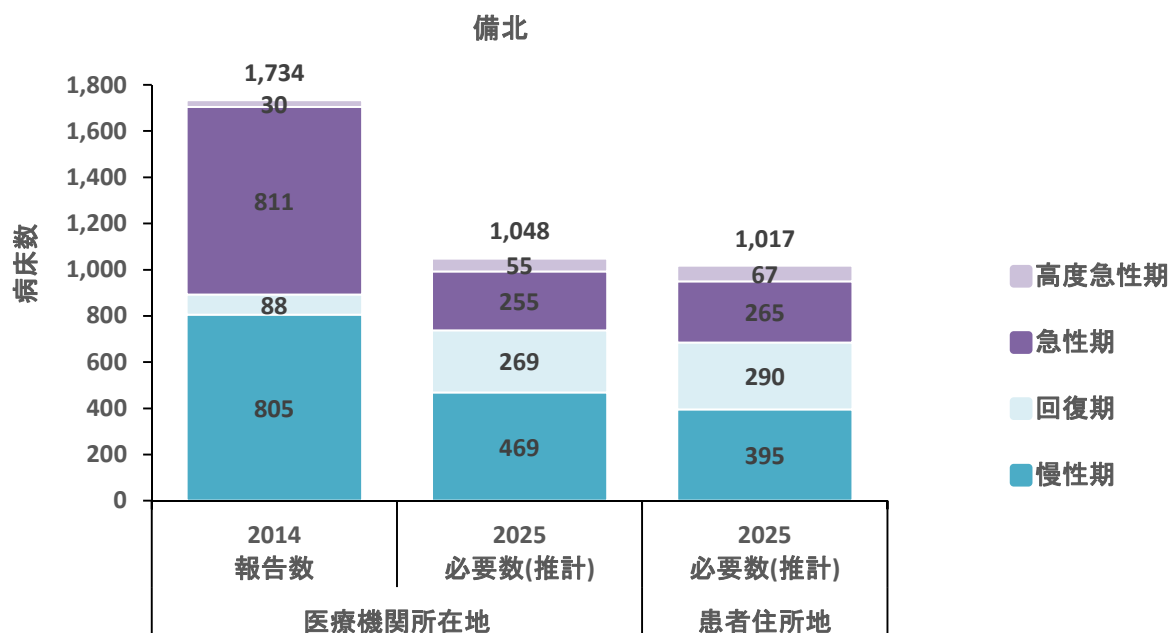
①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は1734床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1048床であり、その差は-686床(-40%)である。

②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は30床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は55床であり、その差は+25床(+83%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は811床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は255床であり、その差は-556床(-69%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は88床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は269床であり、その差は+181床(+206%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は805床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は469床であり、その差は-336床(-42%)である。



*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁵は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰みである。

⁴必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果、二次医療圏については地域医療構想策定ガイドラインに基づき都道府県が推計した公表値のうち、推計方法パターンBの値を掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/64/fuiryoukeikaku270710.html>(2015年9月1日時点)

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

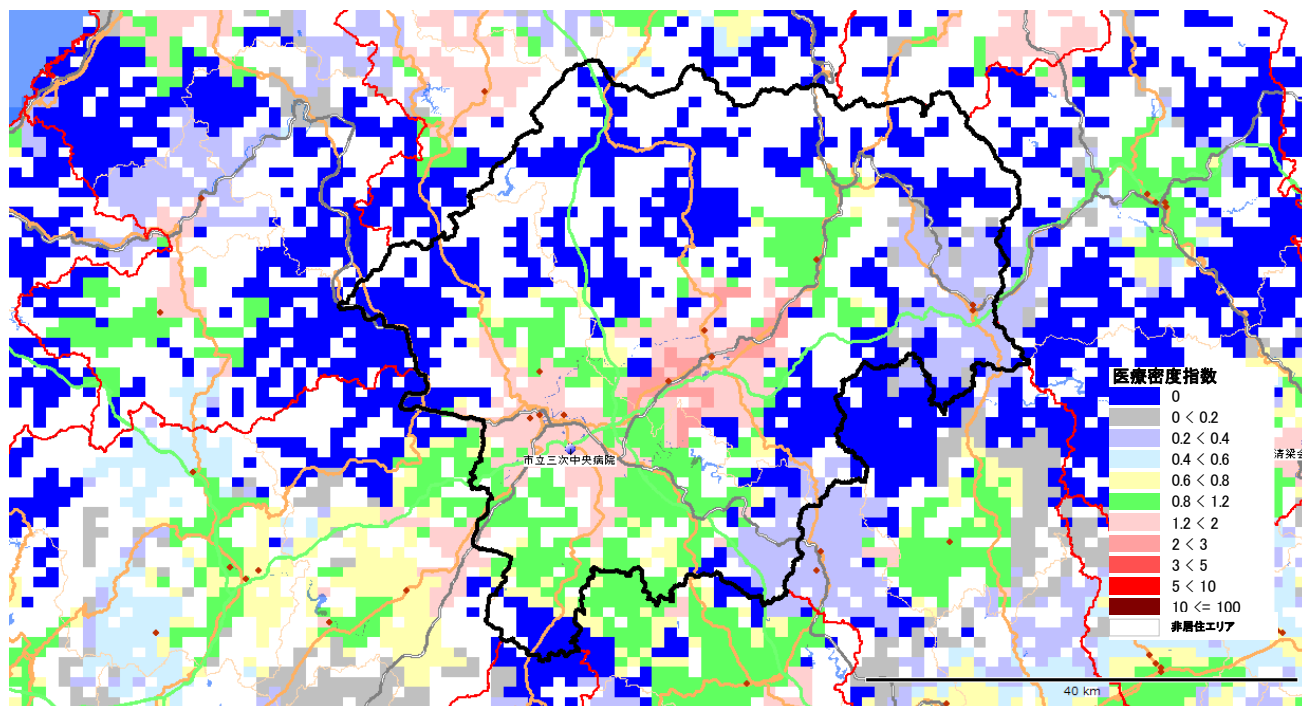
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁵高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

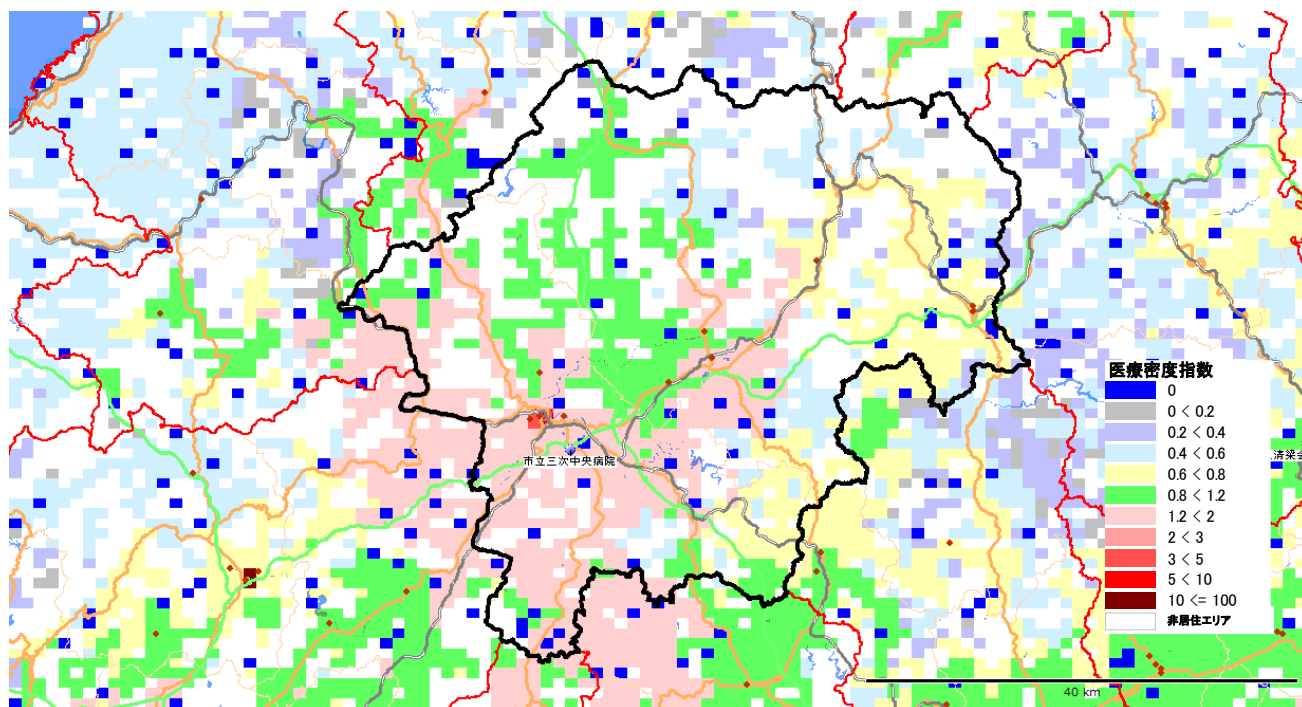
34. 広島県

2. 医療密度⁶

図表 34-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 34-7-2 慢性期医療密度指数マップ



⁶急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。